大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月廿一日（土）

發行所　新京日日新聞社　發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　谷啓二郎

支那何を考へてか着々飛行機を整備
その他武器軍需品も揃へる
米國との特殊契約

（東京二十日發國通）最近支那に對する經濟的援助と技術的援助の名目の下に各國の武器その他軍需品の賣込みが盛んに行はれ二十日在上海總領事代理からさつ領事より外務省に達した情報によれば最近米國のユナイデット、エヤークラフト、コーポレーションは南京政府に對しバードコルセイル式偵察輕爆撃機を賣込んだがその數は十八臺乃至二十五臺である、斯く南京政府のコルセイル式偵察爆撃機は計五十五臺に達した、尚去る十七日のニューヨークヘラルドトリビューンはニューヨークの航空輸送會社であるユーナイテッド、エヤークラフトエクスポート會社は十六日同社總支配人トマハーオ氏を通じ支那政府との間に多數の飛行機賣込契約が締結された旨を報道して居る

鄭總理
宮崎に入る

（宮崎國通）鄭總理一行は沿線至る處縣民を擧げての熱誠なる歡迎を受けつつ午後三時三十七分別府より宮崎に到着君島知事始め官民學校生徒達の大歡迎を受け貴賓室にて小憩後雨の中を宮崎神社に參拜神武天皇御討征の遺蹟を訪れ在りし日の御盛業をしのび次いで縣廳訪問後雨降る中を南洋植物繁る靑島を見物七時より縣公會堂に於ける日滿交驩會に臨んだ、會する者三千鄭總理は知事の歡迎の辭に對し熱烈な句調で永劫に變はる事なき日滿提携をとき多大の感動を與へた、宮崎に一泊して二十七日午前七時二十八分發列車で鹿兒島に向ふ

廣田外相の聲明に
宋が反駁聲明
『第三國の反對を受ける理なし』

（上海二十日發國通）當地滯在中の全國經濟委員會常務委員の宋子文は我が外務省の國際的對支援助反對の聲明に對し今朝大要左の如き聲明を發表した

支那の對國際聯盟及び世界各國との提携合作は日本の反對聲明によつて何等變更すべき筋合のものに非ず、又中國の如く獨立國としての立場から第三國の反對を受ける道理もなく問題の銀公司の内容は日本方の想像の如きものではなく專ら支那國内の事業に當るもので普通の銀行と相違なく又中國の對聯盟合作にも何んの關係もない

南昌會議は
通車問題解決程度か

（天津廿日發國通）黃ヲ氏の南下による南昌會議の結果に就ては種々の電報亂れ飛び、黃ヲ氏の權限擴大の結果華北は事實上獨立政權の形をとる事になつたとか、通車通郵設關問題悉く中央の同意を得、北支の容は既に朗かなりとか傳へられてゐるが、事實は全く然らず、斯かる大きな問題が何等複雜な隱影もなく、しかも簡單に解決される譯なく王正廷より何應欽に宛てたる確報によると、南昌會議の結果は事實左の如きものであり

一、黃ヲは辭職を申出でたるも中央の慰留により翻意せり

二、通車通郵問題は滿洲國承認を結果せざる範圍に於て黃ヲに一任す

三、通郵設關問題については後廻しといふ事に決したるのみにて何等具体的協議なし

四、黃ヲの權限に就ては從前通り滿洲國承認ならざる範圍に於てその權限を附與されたるのみにて權限擴大に關する決定を見たるが如き事實なし

要するに會議の結果は平凡な常識で考へられるもので、あまりやかましいから通車だけ滿洲國承認にならない範圍で解決し他は出來得る限り延ばして行かうといふにあるといふのが動きのない處である

國税體系の整理で
朝鮮官界空前の大搖れ

（京城國通）朝鮮總督府では國税體系を整理し、併せて增收を圖るため昭和九年度より多年の懸案であつた第二種所得税（個人所得税）を創設し同時に淸涼飲料税を新設、少額地税の免除、酒税の增率を斷行して從來の不合理な地税本位の租税體係に一大改革を加へることになり淸涼飲料税は四月一日より實施、其他は十月一日より施行する豫定であるが、之に伴つて五月一日現在の十三道財務部並に府郡島の財務係を廢止して税務監督局五ケ所、税務署九十八ケ所を新設することになつた爲め同日附朝鮮官界空前の大異動が行はれることになつた、即ち新たに司税官（奏任）が設けられ、監督局及び税務署を通じて判任以上約百名の增員を見るのであるが監督局長は三等五級以上と内定してゐるため現道財務部長から轉ずる者は一人もなく内務部長、警察部長、税關長級から選任さるべく從つて監督局長以下異動の範圍は判任以上千七八百名に達する見込みで二十日頃まで人選を終り直ちに發令の手續をとる段取りである

日本皇室の
御厚意には感激に堪へず
阪谷總務次長歸京談

訪日修聘特使主席隨員として鄭國務總理大臣、熙財政部大臣に隨行渡日した阪谷總務次長、朱外交部總務司長、古海主計處給與科長の三氏は先に鄭熙特使一行を送り、更に鄭特使の一行に別れを告げて廿日午後七時卅分新京に歸着した隨員としての阪谷氏一行の今回の渡日は特に責任あるものであり、車中刺を通した記者に對しても緊張を以て左の如く語つた

お迎へ有難う、日本内地の話ですか、鄭總理の歸られぬ前に私かしやべり立てるのも潛越な話だと思ひますが、たゞ鄭特使をはじめ、最も感激に堪へなかつたことは國賓として特に鄭重な御待遇を賜つた日本皇室の御厚意でした、又全國民を擧げての歡迎には一行心から感謝して居る次第です鄭總理が齋藤首相と會見した際、滿洲國の基礎も安定したから、遠からず挂冠する心算だと洩らした等と言立てゝゐるが、そんな馬鹿な話は絶對にないのみならず、總理自身どうして根も葉も無い謠言が傳へられたのかと自分に聞かれた位です、總理一行は今頃鹿兒島邊りに居られるでせう、歸京は今月末頃になると思ひます、云々

大阪と大連に
滿洲國領事館開設に決す

（東京國通）外務省ではかねて滿洲國政府より主要港各地へ領事館開設の申請を受けてゐたが商議の結果、差當り大阪、大連に開設承認、其他の新潟、門司、函館、基隆、淸津各地へは必要ごとに審議する事に決定、近く回答の筈である

宮内府入りの
入江貫一氏
出發

（東京國通）滿洲國宮内府次官に就任する元帝室會計審査局長官入江貫一氏は滿洲國尙書府秘書官長高木三郎氏並に宮内府秘書官加藤内藏助兩氏を伴ひ廿日午後九時廿五分東京驛發の列車で赴任の途についたが、一行は途中桃山御陵伊勢神宮に參拜し、廿三日神戸出帆の「うすりゐ」丸に乘船する筈である出發に際し入江氏は左の如く語る

この度滿洲國宮内府に重任を辱ういたす事となり、本日出發致しますが、先方の様子は全くわかりませんので、就任後徐ろに各當局と相談をいたし度いと考へて居りますたゞ心に願ふのは新帝國の諸制度の確立整備に出來る丈けの御手傳ひを致し、今上皇帝の御大業に少しでも貢獻し得れば本懐の至りと存じます

佛資本代表ド氏
歸國後佐藤大使と懇談

曩に滿洲を訪問滿鐵當局との間に契約調印した『ドリビエー』氏は數日前パリーに歸着同人を派遣した佛國海外發展協會に報告するところあつた趣であるが、同協會長は四月十七日關係實業家數名と共に佐藤大使を訪問し同契約に關する同大使の意嚮を求めたるに對して大使は滿洲における諸般の事業につきある國体のみが獨占權もしくは優先權を獲得ざることはいふまでもないことであるが、佛國側が今回先鞭をつけたるが如く滿洲建設と繁榮とのため日滿兩國と協力せんとする外國投資團体は日滿兩國側より十二分の好意と支持とを與へらるべきは確信し得るところなる旨答へた由である

東拓異動訂正

本社管理課勤務　和泉泰　命木浦支店次長

新京支店次長　加藤寛一郎　命本店管理課次長

本店管理課勤務　赤井文次郎　命天津出張所長

次期軍備の對策
海軍側の研究進む
現行比率更改と軍備平等要求

（東京國通）次期軍縮對策研究の海軍省軍縮委員會は七日ジュネーヴより歸朝した岡大佐を新たに加へ更に研究を進めて居るが五月の齋藤大使の歸朝迄には海軍としての具体案の作成を終る筈である、總ての案は現行比率の更改と軍備平等權の要求とにあるが左の問題も重要視されて居る

一、主力艦の艦形縮少は昨年のジュネーヴ會議に二萬五千噸、十四吋砲を主張し、イギリスも贊成であるがアメリカは三萬五千噸十六吋砲を主張して居り

一、航空母艦と飛行用甲板付巡洋艦廢止はジュネーヴ會議に帝國が提案し英米共に一顧も與へず

一、潛水艦廢止問題は英米は主張するか、帝國は劣勢海軍の作戰上絶對反對でこれに就いては決裂を賭しても主張せねばならぬ

即ち航空母艦の廢止と主力艦の艦形縮小は絶体的に考慮の餘地あり會議開會後臨機の處置を取らんとして居る

來京した堀田外務政務次官一行（中央が堀田伯）

林出書記官
依然宮内府行走

駐滿書記官大使館林出賢次郎氏は滿洲國宮内府入を懇望されていたが現職のまゝ自由に宮内府に出入するを便とするためその旨交渉中の處四月二十日付をもつて沈宮内府大臣より左の通り通知があつた

林出賢次郎を派し宮内に在つて行走せしむとの旨を奉じたるに付玆に御通知に及候間御了知相成度

鈴木總裁暗殺の
川越事件
有罪と決定

（浦和國通）鈴木總裁暗殺計畫の川越事件—吉田豐隆外六名の豫審は三月三十一日終決何れも有罪と決定、五月二十一日より公判することになつた

林總裁歸連

林滿鐵總裁は二十一日午前九時發の豫定を變更して同日午前八時二十五分發臨時輕油動員車で山崎理事、西脇秘書同伴で新京發歸連した

木原顧問
下德氏の案内で戰跡を見物

滯京中の木原滿鐵顧問は二十日軍部方面に、二十一日は午前中滿洲國政府各方面を歴訪して同日午後、折柄滯京中の八田副總裁と會見したが、廿二日は下德郷軍副分會長の案内で南嶺、寛城子の戰跡を訪ひ親しく故勇士達の靈を弔ふはずで廿三日午前八時五十分發ハルビンへ向ふ豫定である

その日く

□ 次期華府會議を前に我が海軍着々準備を進む、攻むに難く守るに足るものこそ國防なり

□ 支那旺んに米國から器、軍需品を仕入れ、飛行機を增す、その魂膽の程が窺ひ知れぬ

□ この意味における孤島日本の對英、米比率絶對的平等要求は理の當然

□ 附屬地の販賣を禁止した彩票を知らぬ顔で賣つてゐる、先づ根本からきめてかゝること

□ けふ、砂塵を蹴つて春競馬の幕開く…春は馬の背に乘つて

外務當局談の
成文譯文を通達す
齋藤大使のハル長官訪問

（ワシントン廿日發國通）支那に對する帝國政府從來の政策を中外に聲明した所謂「外務當局談」は米國の言論界に意外の衝動を與へるに至つたので、諸般の事情に鑑み齋藤大使は近く國務長官ハル氏を訪問し當局談の成文を通達し米國政府の誤解を解く事となつた右當局談通達に關聯し齋藤大使は廿日午前次の如く言明した

支那に對する帝國政府の政策を闡明したる今回の外務當局談に關しては大分誤解もある様だからハル國務長官を訪問し當局談の譯文、成文を通達する考へだ右當局談なるものは米人飛行家が支那の軍事教官となつたり米國が支那に飛行機を賣込むのに對して抗議したものでは決して無くハル長官に對する通告も決して抗議の形式を持つものではない

尙國務省當局は外務當局談に對し極めて愼重な態度を持し當局の成文を正式に齋藤大使から接受するまでは絶對沈默を守つてゐる

人事往來

▲田代少將（關東軍兵隊司令官）二十日午後時三十分發吉林へ

▲李銘書氏（吉林民政廳長）二十日午後三時二十五分哈市から

▲王選軍少將（吉林警備司令部附）同上

▲阪谷希一氏（總務次長）二十日午後七時三十分着内地から

▲森本勝己氏（前關東廳警務局長）同上大連から

▲榮孟枚氏（吉林教育廳長）二十日午後六時三十分發吉林へ

▲堀田正恒伯（海軍政務次官）二十一日午前七時着内地から

▲川島參與官（海軍省）同上

▲荒木主計（海軍省）同上

▲林博太郎氏（滿鐵總裁）二十一日午前八時二十五分發大連へ

▲山崎元幹氏（滿鐵理事）同上

▲林啓九氏（滿洲國最高法院々長）二十一日午前九時發大連へ

團体

▲新京商業學校旅行團七十二名二十日午後七時三十分着歸校

▲高松少女歌劇團十三名二十一日午前八時三十分發哈市へ

▲北滿訪日文化團十八名二十七日午前六時來京二十八日午前八時三十分發哈市へ

▲香川師範學生六十五名二十八日午前六時來京富士屋投宿二十九日午前十一時三十分發奉天へ

▲宮崎縣延岡中學生五五名二十八日午後一時五十五分來京

京商第十一期生　修學旅行記
第二信

支那第一の大都會上海の見學を終へて私達一同は五日午前九時上海を母國日本に向けて出發した六日朝或る者の「日本が見えた」と叫、ぶ聲に依つて皆小躍りして甲板へ跳び出た、朝霧を透してぼんやりと墨繪の如く水平線に陸地が見えてゐる　私達が今まで常に頭に書いていた母國の一端だ、やがて霧は晴れ時は經ち、船は進み母國は目の前に展開した、緑色の林とその中の一賤屋からたなびいてゐる一條の煙、この一幅の景色を見ても私達は日本の平和さを感じ、日本に對するなつかしさを一層增した、美しいほんとに繪の様な景色は移り變つて船は一つの灣に這入つた日本に於ける西洋文明の發生地長崎に着いたのだ直ちに上陸、始めて母國の地を踏む其の時はなんとも云ふ事の出來ないもので胸は一杯だつた、市内及び三菱造船所を見學したが、日本の婦人の勞働に服してゐる姿、日本人の質素な姿これらは、滿洲でどちらかと云へば贅澤な生活をしてゐる　私達になにものかを與へた、その日午後五時又長崎丸にて日本屈指の商港神戸へ一路出發した

○………○

翌朝々飯のドラで目をさますともう世界の公園と云はれる瀬戸内海の島の間を走つてゐた、緑の木でおゝはれた島は廻り静かな波の上に帆船、汽船が浮かんでゐる、この景色は日本人が外人に自慢をするのももつともの事と思つた、日本はこんな所ばかりと思ふと船足のおそさを感じた數十本の煙突からは煙をはきその前に數十隻の汽船が碇泊してゐる、神戸だこれからいよいよ本州へ上陸だ、神戸は流石日本屈指の港だけあつて汽船が澤山碇泊し上陸すれば埠頭の後に各有數な會社の高層な倉庫の立並ぶを見る、町を通れば丁度當日は湊川神社の正遷座祭で市民擧つての御祝で大變な騒ぎだつた、新築された湊川神社に參拜して其の日午後六時神戸を汽車で出發して京都に向つた、殆んどの者が内地の汽車にのるのが始めてだ、まづ第一汽車の小さいのに驚いた、窮屈だがまあ辛抱と思つて乘車した、なつかしさのため窓外の景色に見とれてゐる中に八時京都に到着した、翌日早朝から市内見學を始めた、先づ第一に現在の日本を御作りなされた明治天皇の御陵桃山御陵に參拜して感激にむせぶ、次に各有名な神社寺を巡拜した、これで私達は京都は純日本古來の文明を見る事の出來る所と云はれてゐる事を實見した又同時に日本文明の他國文明に劣つてゐなかつた事を充分に知る事が出來た、京都ここは昔の帝都だけあつて私達に一層日本に來てゐるといふ觀念を強くさせた、私達にとつて有爲な二日間はすぎて九日午後六時奈良朝時代の都奈良に私達を乘せる電車は京都をはなれた

日滿悲曲　生命線を行く
（禁上演上映）　國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

（百四十九）

蛇のやうに

楠本の脅迫は、その後何回となく、蛇のやうに、飛彦を苦しめた。

「これぢや、とても遣り切れない」と其度毎に、飛彦は悲憤を揚げた。けれど、その苦しみから浮み上るには、どう泳ぎ拔けたら宜いか見當が付かなかつた。更に、彼の花柳遊びだけは、依然として續いた。

今夜も彼は、金水へ來て居つた。勝代を呼んで飲つてみたら、仲一を苦しめる新しい材料でも、あるひは擱まれないだらうかと、そんな腹黒いことを、企らみながら、しかし表面は、いつもの鮮な紳士といつた假面でゴマ化して、座敷に納まつてゐた。

そこへ、電話が、黙つて來た。

「僕を尋ねて來る男がある。來たら、通すやうに——」

女中は、逃げるやうに去つた。間もなく女中を先に立てゝ、楠本の大きな居誉が、廊下に近づいて來た。

「やあ——」

楠本は、叩頭もしないで反身になつて、まるで人を喰つた態度である。女中の手前、わざとでもあらう、とは思ふけれど「失敬な!」と、飛彦は、まづ憤慨した。

しかし、心の不快を押隱して、強ひて、笑顔を作らねばならない飛彦であつた。それが、弱い者の惨めさであつた。

「能くわかつたね、僕の、此處に來てゐることが——」

「蛇の道は、蛇でさあ。だが、羨ましいことですね。いつも……

……ガチヤリと、受話機をかける……

「いまのお電話。奥さんから……」

「違ふ!」

砂交りの風も夕刻には止む
けふの風速八、七メートル
今晩は雨になるか

二十一日早朝から春たけなはの新京一帶を襲つた生ま暖い强風は氷結から解放されたばかりの砂塵を中空に捲き上げ行人の裾をはらつたり、帽子を奪つたり幾多の話題を織り込みつゝ猛威を振つてゐるが風速は八、七メートルで、十一日の十メートルに次ぐ强風である右につき新京測候所ではこの風は今日一ぱいは吹くでせう、天津から新京ハイロン方面にかけ七百五十四ミリの低氣壓が不連續線となつて續いてゐるためです高氣壓は上海から遼東半島朝鮮にかけて七百六十一ミリがあり、大体滿洲の春の標準氣壓配置といへるでせう殊によると今晩あたりから雨になるかも判りませんがその時分には風も弱くなるでせうから暴風雨にはなりませんと語つた

けふから十日間 荷物減量事故防止デー

既報、新京鐵道事務所では最近輸入貨、荷物の輸送中拔荷被害が頻々として行はれ荷受人、發送人間に迷惑を蒙る者が多いのに鑑みて二十一日から十日間「荷物減量事故防止デー」を滿鐵全線に亘つて實施この結果果して拔荷が通關中に行れるものか、鐵道中繼中に行はれるのか、原因は何か、などについて調査する、なほこの催し中は殊に荷受け人は荷物の開裝の際中味不足の事變のあつた時は直ちに驛から交附された『荷物照會箋』に荷造の狀態、不足重量、箇數などを詳細記入して貨物、小荷物取扱所に屆けること

天長節祝賀會
軍官民合同で開催
午前十一時から西廣場校で

來る二十九日天長の佳節に當り嘉例によつて新京總領事館新京地方事務所主催の下に軍官民合同祝賀會を同日午前十一時から西廣場小學校講堂で開催されることになつた、會費五十錢、會券と引換に申受く申込は二十七日まで左記へ

▲滿洲國側 總務廳秘書處總務科
▲軍部關係 軍司令部副官部
▲地方側 新京地方事務所庶務係各區長

あす遠乘會

あすの日曜に遠乘り會―新京地方事務所前庭に午前九時半集合し、大同學院の乘馬に跨り約二時間の豫定で寛城子へ繰り出す午後は益濟寮食堂で乘馬部設立相談會を行ふとなほ二十一日午前中までの遠乘り參加申込み者は三十三名あつた

廿七日靖國神社臨時大祭
新京でも招魂祭

既報、二十七日の靖國神社春季臨時大祭當日は新京でも軍部を中心に新京神社拜殿で午前十時から招魂祭々典が行はれ、靖國神社の祭典と同樣一般參詣者、團体、學生は拜殿前參拜することになつた、なほ午後は餘興として劍道、角力、大弓などが境內で催される

けふ植樹節
南嶺で行はる

けふ二十一日は植樹節である特別市政公署では恒例によつて同日午前九時から南嶺で盛大た植樹式典をあげたが、この日强風吹き荒む裡に鄭國務總理代理として張燕卿實業部大臣、丁交通部大臣、許文教部次長その他を始め各機關代表、各學校職員生徒ら多數參列し極めて盛儀を極めた

鄕軍分會副會長
岩坂氏歸京

東京九段下に出來上つた軍人會館開催式に次ぎ帝國在鄕軍人會全國代表者大會に參加した鄕軍新京組合分會副會長岩坂本三郎氏は兩三日前歸京、昨夜分會主腦部が記念館に參集その報告を聽いたその要旨は左の如くであつた鄕軍全國代表者大會參列者列立奉拜は三月廿四日午後二時宮城御車寄せ前參集者、閑院總裁宮殿下、會長、副會長以下八百四十一名、陪列者國務大臣元帥軍事參議官、參謀總長、教育總監 軍司令總長 東京警備司令官、近衞軍第一師團長以下この日 聖上陛下には御車寄階段上に出御御親閲を賜はつた御模樣は當時新聞により報道せられてゐるから省略

林滿鐵總裁 水源地を視察
從業員の勞苦に同情し
金一封をおくる

來京した林滿鐵總裁は西脇秘書を隨へ二十日午後四時新京理事公館を出發、地方事務所長代理鯉沼地方係長、松田水道主任、鴨打土木係長、千々岩土木主任らを案內役として警備員三名とゝもに自動車三台を連ねて新京郊外の第四水源地を視察したが 林總裁は鴨打土木係長を始め案內役から一々水源地狀況を聽取わざ〳〵井戸中に入つて從業員の勞苦を味ふなどの熱心振りを見せ、殊に僻陬の地にあつて匪賊の脅威を受けながら日夜水源地の守護にある現地從業員の勞を多とし種々慰勞の言葉を述べるとともに金一封を贈つた、同總裁のこの水源地視察は始めてのことであり人情味溢れる總裁のこの擧は從業員一同を感激せしめかくて午後五時三十分歸還した

列車中に
天然痘患者

十五日午後一時四十分ごろ第十九下り旅客列車が四平街、揚木林間を通過中三等旅客一滿人が天然痘の疑ひあるので四平街驛到着後直ちに四平街醫院三田泰三氏が診斷した結果、眞症の初期で相當重い天然痘と判明したので、患者乘車の旅客を乘車のまゝ消毒して患者及ひ患者の妻、二兒合計四名を下車させて警察の手を經て滿洲國官憲に引渡したなほ患者は山東省濤周生れ除蘭四(二五)と判明した

函館火災に
熱河滿人の友情

さる六日熱河警備司令官張海鵬上將が參謀長と外交科長を伴ひ親しく杉原司令官を訪ふて將卒一同からの義捐金二千二圓四十三錢を手交したを始めとし、朝陽日滿官民からは市民に四百三十圓、將兵家族に四百圓、出動將兵慰問に三百十圓計一千百四十圓の慰問金を寄せた、其他灤平を始めとし各地の警備隊を經て送金された所もあり、又承德の四百三十圓を始めとして外務省經由で送金される所も數多くあるとの事だ、天禍憎むべしされど災後のこの情誼また美哉ではないか

邦人一名卽死
內鮮人九名を拉致
六道河子松下組の匪賊事件

(ハルビン國通)本月六日北鐵東部線六道河子にて松下組土木事務所を匪賊が襲撃し邦人一名と鮮人數名を拉致したことは既報の如くであるが本日當地に達した情報によれば愛知縣豐橋市松原町大本望次(三五)は匪彈に命中卽死し兵庫縣明石市大前龍藏、高知縣濱口次郎、愛知縣大木妻平北海道庭山民喜、埼玉縣平間安次外鮮人四名は匪賊のため拉致されたことが判明した

新京の綠を愛せよ(上)
街路樹を愛護しよう
西公園事務所 吉田倉藏

「柳櫻をこきまぜて都ぞ春の云々」と歌つた大宮人を偲ばせるクラシカルな平和の古都は云ばずもがな、母國日本よりの花信しきりに到る時滿洲國の都こゝ新京の天地にも日一日と春は忍ひやかに近づいて來たこの四五日西公園の廣原に新京神社の芝生に杖曳く人々は必ずや寸餘に伸ひた草の芽の可憐な姿を見出すであらう、出である中に特に若綠薄紅の美こそ春そのものゝ生命ではあるまいか、私は今新京の綠の頃を思ひ浮べつゝ所感の一端を述べたい

○

試みに飛行機上の人となつて新京の五月の空を低くゆるやかに飛翔したとせよ、先づ眼に映ずるものは西公園の集密した綠色であらう、次に規則正しい碁盤の目型に放射線狀の街路に沿ふた二條の綠線が目について來る、私はこの二個の綠の各々に就てその身の上をとくと考へて見よう、悠久無限の大空を自由に奔放に舞ひ飛ぶ野の雲雀を西公園の綠にたとへるならば街路の二條綠線は狹い窮屈な鳥籠を天地とするカナリヤに似通つたところがある

○

私共は公園の樹木の綠したゝる幽玄な雅境を心から禮讃するものであると共に街路に立ち並ぶ木々のともすれば綠の色のあせたる姿に對し云ひしれぬ哀憐の情と懺悔の念をもよほす者である、何がかくも公園の樹木と街頭の樹木との健康狀態に格段の相違を生ぜしめたのであるか、それは云ふ迄もなく「愛」の問題である

○

公園の樹木は自然からも人からも豐に「愛」を惠まれて居る、公園の青草の原は樹木の根に絕へざる濕ひを與へるに充分であらう、廣々とした園內に密植された樹木の群には塵埃、煤煙の冒す程度もいと輕きものであらう

○

更に深夜の靜けさは公園の樹々の眠りを深く樂しい夢路に運ぶに充分であらうし朝々の小鳥の歌は彼等の目覺めを如何に快く朗らかなものとしてくれるであらう、更に園丁をはじめ公園管理者の不斷の愛護は如何に彼等の生育繁茂を助け遺憾なくその個性を伸ばしむることであらう

○

それに引き替へ街頭を生涯のわが守り場として居る樹木達のコンディションは、如何に公園のやはらかな綠の芝生に引き替へ彼等の立つて居るところはカチカチのペーヴメントではないか、どうしてスクスクと根を伸し得よう池あり噴水ある公園に引きかへ街頭はカラカラに乾燥してゐる、濕ひを求めてやまぬ樹木はいぢらしくもしよつちゆう咽喉をひからべさしてゐる、どうして水々しく枝葉を擴げることが出來よう

○

車馬輻輳の不氣味な雜音けたゝましい噪音自動車のヘッドライト深夜の安らかな熟眠は到底街頭の樹々には望めないその上風壓塵埃煤煙に見まはれる度合は公園の樹木の思ひも及ばぬものがある公園の木々は高さに制限と云ふものがない、綠の梢は天までもと伸ひるところに無限の美を發揮するそれに引きかへ街頭の樹は高さを制限される天までもと伸ひるかたはらから「待つた待つた」と遠慮會釋もなく剪定の鋏が見まわれてくる

○

更に人工的に最も重大な原因とするのは樹木管理人の愛の手の屆かないこと、樹木愛護心に乏しい市民から受ける惡影響とである

新京 奉天 附屬地に地方法院開設の要
廿日の定例閣議で法相報告

(東京國通)定例閣議は二十日午前十時より總理官邸に南遞相を除く全閣僚出席開會し選擧法改正案の樞府諮詢手續きをなした、次いで小山法相より關東州よりの司法官の意見によると滿洲國の成立後滿鐵附屬地は非常に發展し司法事件が激增して現在の制度では不便多く奉天、新京に地方法院新設の必要ありとの具申があつた旨を報告し正午散會した

僞軍屬逮捕

熊本縣生れ住所不定池部徹(二九)は關東軍々屬と稱し大丸新舘に宿泊し料金を踏倒し續いて十九日富士町三丁目料亭一方に登樓し藝妓千之助こと小篠京子を揚げ二十四圓七十五錢の遊興をなし逃走せんとしたが家人が不審を抱き眞に新京附屬地憲兵分隊に屆出同隊で取調べると軍屬とは眞赤な僞と判明し身柄を二十日新京署に送致した

エロと忍びの
廿二女

福井縣生れ住所不定石井のぶる(二二)は市內の飲食店を轉々と廻り二三日間働いては他に變りその間にエロを賣り又は市內を徘徊中內地人宅に忍び込み衣類を窃取してゐるを新京署谷本刑事が探知し二十一日午前六時ごろ東二條通普通學校橫手の川島組の某氏と同キン中を逮捕し取調べると去る十五日永樂町二丁目二十三番地高橋正義氏方の家人不在中を奇貨とし錦沙羽織を窃取しその翌十六日は東二條通巴旅舘に投宿し宿泊料金を踏倒し逃走したことを白白した余罪多數にのぼる見込である

當局の嚴達を無視
彩票を賣る
新京署がお目玉

既報の如く新京附屬地內では滿洲國財政部發行の福民奬券彩票の販賣を第二回から嚴禁したにもかゝはらず第二回彩票を財政部の許可として依然として販賣してゐるのを知つた新京署保安係では二十日金泰、松尾兩商店責任者を呼出し販賣禁止方を命ずるとゝもに嚴重說諭をなし、もし販賣を繼續する場合は相當考慮する模樣である右に就き保安係では語る

販賣人を呼出し調べて見ると財政部と關東廳とで折合がついたから賣つて異れとのことで賣つてゐるのだといつてゐるが當署には何等關東廳から販賣については通牒に接しておらない當署としては關東廳の通牒に基き附屬地內の店舖販賣を嚴重に取締つてゐる

觀櫻御宴列席の
四戸氏から電報

全滿から四人その一人に選まれ觀櫻の御宴に召された鄕軍新京聯合分會長四戸友太郎氏は二十一日朝左の電報を寄せた

昨日觀櫻會無事濟んだ天氣淸朗理想の天の御日和なりし

カフエー組合
役員改選

新京カフエー組合では二十日午後三時から料亭開花で春季總會を開き、會計報告、役員の改選を行ひ午後六時から宴に移り、同十時盛會裡に散會した改選の結果左の如く決定した

組合長 阿曾市太郎 三笠
副組合長 渡邊浩志 箱根

幹事		
	平島金三郎	ライオン
	前畑稿平	ミス東洋
	古谷市之亟	東洋軒
	小去唯一	ゴンドラ
	追風世平	赤玉
	高田秀利	富士
	松村外茂吉	マルセーユ
	藤井甚作	精養軒
	黑川嘉一郎	白馬
	荒木伸之	ミツワ
	友淸金藏	ポプラ

遺族
三十周年追悼會 參列に來奉

(奉天國通)北滿の露と消えた殉國の志士橫川省三氏の遺族橫川融三氏(四七)及び橫川りつ子さんは明二十一日奉天中學校に於て執行される日露戰役殉國志士三十周年記念追悼會に參列のため二十日午後二時五十四分着「ハト」にて當地在鄕軍人會その他各團体の出迎へを受け橫川志士の衣服等携へて來奉した

沖、橫川兩志士祭
盛大に行はれん

(ハルビン國通)祖國愛の權化沖、橫川兩志士ハルビン郊外の露と消えて茲に卅年、英魂永久えに東洋の護りとして香煙のあと絕えないが、全國的非常時機運に刺戟され、地下に埋れる志士の英靈に對して澎湃として起れる弔魂の聲漸く盛なる秋明廿一日の志士命日は盛況を豫想されて居るが、當日は午前十一時より日滿露各國僧侶の讀經、回禮及ひ目下當地にて撮影中の淺岡信夫一行の『北滿の落花』撮影班が當日を期して追善供養の意味で碑前の銃殺現場で銃殺場面のロケーションが行はれるが 折柄の好天士曜日と相俟つて哈市の國際人士によつて郊外碑邊の雜踏もしのばれる

故林上等兵遺骨
けさ原隊へ

第〇〇隊附故步兵上等兵林文雄氏の遺骨は二十一日午前八時太子堂から新京驛に移送され午前八時三十分發ハルビン行列車で原隊に輸送された

關直彥氏逝去

(東京國通)勳二等貴族院議員關直彥氏は本日午前七時逝去した、享年七十八、氏は東京府士族辯護士明治二十三年第一期帝國議會以來衆議院議員に當選すること十回に及び、昭和二年貴族院議員に勅選された

街の日記

西本願寺の日曜講話

西本願寺の日曜講話、廿二日日曜日午後一時三十分から講話
『信の社會』 岡田布教師
『御文第十通』 光岡慈昭師

豐川稻荷例祭

明二十二日午後一時より市內曙町禪宗大正寺にては 同寺鎭守豐川吒只尼尊天の月例祭を修行する由

新京日本基督教會集會

一、日曜學校午前八時半
二、朝拜午前十時
演題 現世は來世への準備 吉川牧師
三、夕拜午後七時半
演題 神と偕にあるもの 大沼幹三郎
神と偕に働くもの 吉川牧師
御來聽を歡迎致します

日の出を拜するつどひ

二十二日(日曜日)朝四時五十分より西公園誠忠碑前にて(新京日出時刻四時四十七分)市民早起會は五時より

落しもの

▲高砂町四丁目六番地大竹久次郎氏は二十一日午前零時ごろ吉野町二丁目五番地サロンロートルから東一條通と吉野町の交叉點に行く間に二ツ折財布一個在中現金二十七圓を落した
▲東五條通永樂通富田キミヱさんは二十日正午ごろ吉野町から自宅に歸る途中ハンドバツク青色在中二十四圓を落した
▲東頭道溝長春練瓦工場內藤本壽造氏は二十日午前十時ごろ實印一個を落した

盜難屆

▲中央通十三番地松屋旅舘岩本ヤスさんは十九日同家十五號室で二ツ折財布在中十圓を盜まれた
▲日本橋通新京ビル四十三號吉原嚴氏所有自轉車一台時價廿五圓を二十日午後五時ごろビル入口で窃取された

けふの銀相場

鈔票對金票 [illegible]
現大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

天氣

天氣 南西の風曇後晴
氣溫 最高二〇度五 最低三度
日出 前四時四十六分
日入 後六時三十分
月出 前十時四十四分
月入 前一時十八分
滿潮 前 分 後 分
干潮 前 分 後 分

けふから競馬
强風に出足をくぢかれて
聊か氣拔けの態

全滿のトップを切つた新京賽馬俱樂部主催の春季競馬大會は二十一日午前十時から大房身の競馬場で煙火の打揚げとともに抽籤新馬六頭立で火蓋は切つて落されたが、朝來の惡天候に觀衆は出足をくぢかれ豫想の人出がなく俱樂部員はいづれも氣拔の觀があつた

第一日四月二十一日(土曜日)競馬成績

一競馬 一六〇〇米 一着二分四〇五分一秒 二着首 三着一〇馬 配當(複)一着三圓六〇錢 二着二圓二〇錢 三着二圓一〇錢(單)七圓二〇錢 搖彩票一等三〇圓九〇錢 二等八圓八〇錢 三等四圓四〇錢 等外一圓二〇錢

二競馬 一六〇〇米 一着二分四五分一秒 二着二馬 三着大差 配當(複)一着四圓一〇錢 二着二圓六〇錢 三着五圓四〇錢(單)七圓五〇錢 搖彩票一等五四圓六〇錢 二等一五圓六〇錢 三等七圓八〇錢 等外二圓四〇錢

三競馬 一八〇〇米 一着二分五九五分一秒 二着大 三着七 配當(複)一着四圓四〇錢 二着九圓八〇錢 三着五圓一〇錢(單)三圓八〇錢 搖彩票一等八〇圓六〇錢 二等二三圓〇〇錢 三等一一圓五〇錢 等外三圓六〇錢

四競馬 一六〇〇米 一着二分四〇五分二秒 二着大 三着二 配當(複)一着五圓二〇錢 二着三圓六〇錢 三着五圓二〇錢(單)二八圓八〇錢 搖彩票一等一一二圓四〇錢 二等三二圓一〇錢 三等一六圓〇〇錢 等外四圓〇〇錢

注目の的(五)
大新京の景氣打診

好景氣じやとて傷をいやす程度(下)
宿泊料は全滿一安い
旅舘組合長 富士屋主人 五味武太郎

この長い間の不況もこの度の事變勃發以來卽ち昭和七年春頃から一轉して好況を示してきたのです、吾々業者としてもお蔭は受けたのだが、これまでの傷があまりに大きかつたため只その傷をいやすことが出來たといふに過ぎない然し事變景氣ではあるが好況といふことに對しては決して否定はしない、この一時の

好景氣來の

波に乘り滿洲黃金狂時代が現出し、多くの夢を見ての渡滿者が續出し、同業者も昭和八年一ヶ年間に三十軒餘の增加となり、現在三十六軒それにともなつて異數の人口增加を示し今日に至つたのである、昭和七年から八年に至る好況時代は世界の視聽が滿洲に集り、わけて國都に決定してからは視察團等來京者がぞくぞくつめかけたのに反して、旅舘の殆んどは軍隊に占有せられ、亦設備不完全等の爲め一般來京者を慰めることさへ出來ず、新京の旅舘は不親切だとの不評を買つた有樣であつた、現在の景氣觀に對しては種々の立場から色々異つた說もあらうと思ふが、決して落ち着いたものではないと思つている、營業上收入などの上からは惡るいものとは思はないがいつ變動が來るかわからぬ、上、調子なものだと思つている、殊に銀行の貸出の狀況から見てもわかるが亦一夜に數百圓を巷に散ずる者ある反面

紅灯の巷に

今日のパンにも惠くまれずルンペン生活のどん底をさまようている悲慘な人々も數多くある現實の世相の上からでもうなづくことが出來ると思ふ少くも康德五年開催される博覽會時分まではこの不安定な現狀が續き、その後は落ちつくであろうが現在より不況になるものと觀測している、現在接客業者のうちでは吾々が最も苦しい立場にあると思ふ相當の客を迎へることは出來ても非常なる物價の騰貴と時代の進運に隨つて旅舘としての面目を保たんがために施設萬般に對してすくなからぬ資[illegible]なければならぬ、わ[illegible]業者の弱點は規定料[illegible]二十四時間一室を提[illegible]ればならぬ[illegible]如きは一テーブルによ[illegible]ーの[illegible]客を迎へることが出[illegible]で、彼我の對照は相[illegible]があると思ふ、かく[illegible]由からして經營上の[illegible]係の上に於ても旅舘[illegible]では苦境にあるもの[illegible]ゝでは堪え忍ぶ事が[illegible]て以前の通りの料金[illegible]を當局に對して請願[illegible]あるが暴利取締令の[illegible]されず、業者として[illegible]くこゝに自衞手段と[illegible]購買組合を組織し苦[illegible]の一助にしてからく[illegible]つないでいる現狀で[illegible]

家屋競賣廣告

一、當社事務所
公主嶺敷島町一丁目參番地 宅地一一五一平方米四三(參四九坪)所在
本家、煉瓦造鐵板露西亞葺平家一棟此面積二四三平方米一二五(七三坪五合)
附屬倉庫、煉瓦造鐵板葺平家一棟此面積三一平方米五(九坪五合)

二、一號社宅
公主嶺楠町二丁目十五番地 宅地一〇九九平方米二二(三三二坪五合)所在
木家、一戸建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積一一四平方米九二二(三四坪八合)
附屬倉庫、木造鐵板張一部煉瓦造平家一棟此面積四三平方米九(一三坪)

三、二號社宅
公主嶺楠町二丁目十六番地 宅地九二二平方米二四(二七九坪四合)所在
本家 四戸建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積二三九平方米二五八(七二坪五合)
附屬物置木造堀立鐵板張二棟此面積二六平方米四(八坪)

右當社所有家屋ヲ左記ニ因リ競賣可致候

一、競賣期日 昭和九年四月二十八日午前十時
一、競賣ノ場所 當社
一、競賣方法 入札
一、開票 卽時
一、保證金 入札價額ノ二割以上ヲ入札ト共ニ納入
一、競落代金拂期日 昭和九年四月三十日
一、家屋受渡期日 同日但シ會社事務所及二號社宅四戸建ノ內一戸ハ當社ノ淸算事務結了迄(本年六月末ノ豫定)當社ニ對シ賃貸スルモノトス
一、入札價額ニシテ何レモ當社ノ豫定價額に達セサル家屋ハ卽日再入札に付ス

昭和九年四月二十三日
公主嶺敷島町一丁目三番地
公主嶺取引所信託株式會社
淸算人

冬から春へ……氣候轉換期に
どんな注意が必要か（六）

多から春へ―嚴寒から塵埃への非衛生的な氣候轉換期に當る昨今衛生上特に注意をせねばならぬ時期であるが、その豫防方法並にことに注意を必要とする事柄についての衛生上の問題に各專門醫は語る

春と皮膚病（二）
滿洲に特に多い寄生性疾患

滿鐵新京醫院皮膚科醫長　吉村寧儀

次にこれ等を實例に就て一一擧げて見ると、頭に來れば「シラクモ」と云つて黒い地肌に白い圓い「カサ」を生じてくる、多く小供に見るが、皮膚の強い大人も屢々侵される、只し大人では「シラクモ」の樣な明瞭な形を示すのは稀で、頭一面に「フケ」が出たり或は小さな針の頭位の「オデキ」が方々に出たり退いたりする、共に痒いのが特徴で櫛の齒を立て、創液を出さないと氣が濟まない程惱ましいものもあるこの外幼兒の頭にくる「クサ」或は俗にいふ胎毒も多くは反つてこの外因的な寄生性から起つて來る、尙頭ではこの爲め毛髮の發育が惡くなり或は脱毛することもある次に顏に來ると輕い者は「ハタケ」となる、子供や、お化粧する若い婦人に見られる、又赤ん坊の乳かぶれもこの「ハタケ」の變つた者に過ぎない場合が多い、この外顏で厄介なのに男の大人に見られる毛囊炎である、これは多數の毛孔に沿つて深くカビの菌か侵入した時に起るもので剃毛の後に常に惡くなる、

×

更に軀幹では、皮膚病として最も人に知られて居る「インキン」「タムシ」が取りも直さずこの寄生性の者で、これ等か「シラクモ」や「ハタケ」と親類の病氣とは恐らく考える人は無いだらう、

×

「インキン」（女子では×××痒症）「タムシ」等の頑固さに困らるゝ方は先づこの病の本態に付いて苦笑されたい、この外屢々見受ける同種の病氣としては幼兒の「ヘソタヾレ」「オムツタヾレ」更に成母では授乳期に必ず再發する乳首の「タヾレ」「キレツ」等は皆この病の變つた者である尙この外軀幹一面に小さな赤い斑點が多數一時に發生する事もある

これは多くネマキに附着した多數のカビの種子が發汗劇動不潔等の諸條件が重なつて一時に發病した時起るのであるが、屢々梅毒疹と見誤られるから注意すべきである、

×

最後に手足では「汗疱」「水虫」となり劇い時は歩行出來なくなり淋巴腺や淋巴管の腫れる事もある、又爪を侵した時は爪は膨脹して光澤を失しボロボロとなり醜形を呈する、尙手足等皮膚の厚い所では痒みが特に劇しい、この痒みの劇しい事も寄生性皮膚病の主要な一徵候でこれはカビが繁殖する時に、その分泌物が外部に排泄されないため、皮膚の神經を刺戟するから生ずるのである、

×

以上で極く簡略に寄生性皮膚病の色んな型を述べたが一に寄生性皮膚病と云ふても如何に多樣なかが理解された事と思ふ

銀幕でお馴染みの彼女や彼氏ら
長春座で實演近し

酒井米子をはじめ光岡龍三郎、久米讓、石原龍之介、明美寛、黒川匠、石田陽晤、都一男、大木茂、中村半次郎、中路佐一郎、大佛光司郎、夏目芳雄、髙田博文、大野友吉、靜谷三郎、江島弘、葛木香一、瀨川律子、坪内都志子、志乃田玉枝、糸川靜江、萩葉子、山田美津子、髙瀨良子、德川雅映等かつてスクリーンでお馴染みの彼女彼氏が大擧して來京長春座で實演を見せるといふので映畫ファンは勿論好劇家はその開演の日を待ち詫ひて前人氣は日一日と昂りつゝある決定した初日藝題中、川村花菱脚色『唐人お吉』六場主なる配役および梗概

黒船が來た、そして德川三百年の平和の夢ば破られた、世は攘夷、開港の説巷に溢れるその頃下田港の新内お吉は愛人鶴松の力强い腕に抱かれて感激の生活を送つていたが……嫭てそれも破られる時が來たのだつた……そして、その身は洋妾として市井の人から罵られた憎まれた……されどお吉は何事も默認したのだつた、何故か？幕末開港史に咲く一片の花の奇しき宿命談！！

役	配役
伊佐新十郎	葛木香一
タウンセントハルリス	久米讓
奉行髙橋	石原龍之介
船大工鶴松	明美寛
志士荒木	黒川匠
同　林田	都一男
ヘンリーヒュウケン	大木茂
役人内木	夏目芳雄
同　辻堂	光スナオ
役人藤堂	大佛光司郎
同　水原	髙田博文
通譯鈴木	靜谷三郎
狂人お松	坪内都志子
藝妓お福	瀨川津子
外町人	大ぜい
唐人お吉	酒井米子
駕屋	

第一場　下田港花柳街　狂人お松が青い目の赤ん坊を生んだ、ラシャメンこうした嫌惡の目で、名で今町の人から見られているのだ勤王攘夷の士は怒る時幕府に通商條約締結すべく渡來したハルリス及びヒュスケンの二名は旅の徒然の余り一日町を散歩し新内お吉およびお福の姿を見て、彼女等を側妾に出せと奉行に請求するのであつた

第二場　浦賀奉行所の一室　命令によつて、浦賀奉行はお吉お福を呼ひ出して玉泉寺、（それはハルリスの泊る假宿）に行く事を命じるがお吉は聞かなかつた

何故に日本の女が異人の氣嫌を取らなければならないかと反問し更に軟弱な幕府の對外政策を嘲笑するのであつた、奉行は當惑した此の際幕府の爲めに人心を平にさす爲めには是非共お吉に行つて貰ふ樣伊佐新十郎から話してくれと頼むのであつた

第三場　料亭伊勢善の奥座敷　浦賀奉行所顧問伊佐新十郎は幕府の爲めにとお吉を戀人鶴松からはなさしてハルリスの許へ行く事を承諾させる、お吉はすべてをあきらめて、只、國の爲めに玉泉寺へ行くのであつたい

第四場　玉泉寺の一室　米國本土をはなれたハルリスは日本に渡來して、人の本當の姿に心に飢えていた彼は自分を憎む日本の人が解せなかつたお吉は日本人は皆國を思ふ人達だと絶叫する、ハルリスは其の言葉に感ずる、時に攘夷派の志士玉泉寺襲撃、お吉は短銃を向けて日本人は卑怯な行動をしてはならないと言ふ併し志士達には其の意味が解せなかつた、お吉がハルリスを庇ふ物と思つて荒々しく去つたハルリスは涕泣感激、お吉は又、ハルリスの爲めに市中に異人特有の飲料牛乳を求めにさまよふのであつた

第五場　下田の海邊　人々から卑しまれ、憎まれたお吉彼女は國の爲めに玉泉寺通ひをするのに何故町の人々は反感持つのだらうと疑惑を抱いたそして泣いた

新内お吉の名は今ではラシャメンお吉と現在の彼女は狂人お松よりも哀れである、お松は世上の憂を知らぬ丈け幸福では有るまいか新十郎は只一人やさしく慰むるのみであつた、そして、お吉には戀人鶴松の姿より眞の姿で交際しくれるハルリスの方がいとしかつた

ラヂオ

二十二日（日曜日）新京

前一時五〇分　講演（全滿並日本全國中繼）滿洲國財政の近況に就て　國務院總務廳主計處長　松田令輔

午後四時五〇分（東京より）　運動競技　野球試合實況　東京大學野球聯盟リーグ戰　―明治神宮外苑野球場より中繼―　法政對明治

同　五時〇分　子供の時間

同　五時二五分　ニュース（鮮語）

同　五時三〇分　演藝（鮮語）

同　六時〇〇分　ニュース（東京より）

一、關山武馬　二、愁心歌　四、平壤難逢歌　五、外觀難逢歌　思君舘　金舞慶

同　六時二〇分　ニュース　氣象豫報プログラム豫告

同　六時三〇分　作曲者別現代歌謠曲集（東京より）

同　七時〇分　掛合講談（東京より）　葉平小僧　神田伯龍　神田伯治

同　七時三〇分　一中節（東京より）　菅野序遊

同　七時五〇分　映畫物語

同　八時〇〇分（東京より）　新月かつら川　川口松太郎原作　伴奏指揮　國井紫香　越智孝太郎

同　八時三〇分　時報、ニュース（東京より）

同　八時四五分　時事解説（鮮語）

同　九時〇分　演藝（滿語）　隱樵女夫　爲政當局より見たる各地散在同胞の状況　催保郷

同　引續ニュース（滿語）

鎭平銀禁止後 安東財界に混亂なし
中央銀行發表

鎭平銀建取引禁止に關し二十日中央銀行は左の如き發表をなした

今日政府から鎭平銀建取引を本年九月三十日限り禁止する旨の發表がありまして玆に幣制統一は更に一歩を進めることになりました、抑々も鎭平銀は滿洲の一角に流通してゐたのは幣制統一上より見てまことに變態的でありまして今や價値安定、流通擴大しつゝある國幣にその地位を讓ることになつたのは時の然らしむるものと思ひます、禁止後安定財界に混亂を來すやうなことは絶對にありませぬが本行として萬全を期するため左記の準備あることを玆に聲明致します

一、七〇、二を以て鎭平銀の賣買に應ずる件
二、金融については充分便宜をはかること
三、上海向爲替に對しては時價を以て賣買に應ずること

萬寶農地の
農務稧設立に就て
新京總領事館當局者語る

萬寶山は鮮農が昭和六年舊政權の沒義道な壓迫の下に敢然決死的覺悟を以て踏み止まり天下の同情と後援とを受けた滿洲事變史の頁を飾るに足る記念農地であるが、事變當年は血の慘む樣な努力も其の甲斐なく地方官民の妨害の爲めに遂に播種することが出來ず又翌七年は稀有の大水害の爲に收穫皆無と云ふ悲慘な結果に終り、此の二年間に鮮農の農耕費負債は一萬數千圓に上つた然しながら鮮農は之にも屈せず昨八年三度營農して遂に目的を達し相當の收穫を得八年借入の農耕資金は元利共完濟も前途の見透しもつき、百戸の鮮農五百人の家族の面上に喜悦の色を見るに至つた次第で、當初より終始一貫之が保護指導に努めて來た當館としても實に喜びに堪えない次第である

×

然しながら農地としての萬寶山の價値は今後統制ある鮮農の活動に依りてこそ充分に發揮せられるのであるから、當館に於ては之が組織方法に付て考慮中のところ、本年一月農民側に於ても其の必要を感じ、一同集合した際の決議を以て新京朝鮮人居留民會長金東晩氏に農地の維持經營方法に關し依頼するに至つたので當館に於ては好機熟せりと認め金民會長に對し名義上の小作人にして中間地主の樣な搾取者を排除し、昨年眞面目に本地に於て營農した者及營農の目的を以て現に農村建設の爲に百年の計を樹つべき樣指示したのであるが金民會長の熱心な奔走に依り幸に農民も能く諒解し着々として進捗し今回農務稧の設立を認可し理事の選任も終つたのである

×

農務稧は鮮農生活上地方唯一の機關であつて、今後爲すべき仕事は實に多いのであるが本年差當り必要なのは農耕資金の斡旋、兒童の教育設備及農民住宅百戸の建築等で、之等に要する費用も相當額に達するが何れも近く實現する手筈になつて居る、農務稧の基礎が鞏固になるに從ひ漸次農耕用品及日用品の共同購入並に生産品の共同取賣等幾多重要なる事業を順次施設する計畫であるが朝鮮總督府に於ても協力して農地の水利灌がい及農耕方法の改善並に副業の奬勵等農民の副利增進に關し特に盡力せられ、尙東亞勸業株式會社、新京朝鮮人居留民會及新京朝鮮人金融會に於ても舊に倍して援助せらるることに諒解あるを以て、鮮農は旺盛な自力更生の意氣を以て能く立派な農村を建設し、以て滿洲事變の記念農地として恥かしからぬ事業を爲し遂げることを信ずるのである

輸出依然衰へず
目先貿易樂觀
棉花は漸く本格的

（東京國通）滿洲貿易は四月中旬に至つて棉花輸入の飛躍的增大によつて入超額も一躍二千八百五十二萬圓と

本年の最高數字を擧げるに至つたが本調子の輸入期に入つて來た今旬の輸入棉花七十三萬八千五百四十七ビクルは昭和七年三月下旬の九十九萬八百五十八ビクルに次ぐものである、例年一月より三月に輸入されるものが本年は繰延べられた態となり漸く棉花輸入の本格的最盛期に入つた爲めである即ち本年一月以降今旬迄の棉花輸入數量は四百七萬九千餘ビクルで昨年同期累計五百七萬六千餘ビクルに比し約百萬ビクルの大激減となつて居る然るに棉花の内地消費の觀點からすれば綿絲の生産から推しても輸入綿布の非常な旺盛から觀ても今年は遙かに昨年の消費量を凌駕して居る、斯くの如く消費が多く棉花輸入が少いと言ふが如き矛盾した現象は全く印棉不買解除後の過渡的變動であつて上半期末までには當然昨年輸入數量以上の棉花を輸入することは必至の形勢に置かれて居る、今旬の七十三萬ビクル餘は稍過大としても今後當分一旬五十萬ビクル見當の輸入は繼續すべく輸入帖尻累增の

傾向に向ふものと見られる、羊毛輸入も今旬の一千五百餘萬圓は記錄的數字であるが、一方輸出方面も生糸は不變綿織物は依然好調であり人絹織物も今旬は三百七十五萬圓餘と今年の最高記錄を示して居り全體的に輸出の衰へは見えない、目先貿易は悲觀を要しないものと觀られるに至つた

鐵嶺朝鮮人民會
水田買收に着手

（奉天國通）鐵嶺朝鮮人民會では亂石山、馬峰溝に約五千天地の水田を買收し鮮農一人當り三天地宛貸與する計畫を樹て昨年既に一千天地を買收本年約八百天地の買收に着手して居るが同地一帶は水利不便なる爲水揚機械を購入遼河より引水する筈である

炭礦會社
創立總會は
本月末か

滿洲炭鑛會社設立委員會は十九日に引續き廿日午後二時半より東亞産業協會で續開吉田委員長外各委員出席、定款審議其他を行ひ、同四時閉會した、尙創立總會はこの協議で決定せず大体本月末の模樣である

滿洲計器の
創立總會
來月一、二日開催

曩きに設立委員會を開催定款其他の審議を行つた日滿合辦滿洲計器股分會社は愈々來月一、二日の兩日東亞産業協會で創立總會を開き重役の決定其他を協議する事になつた

全滿に
金融合作社設置
理事講習會
五月施行

農産物の暴落金融逼迫のため崩壞線上にある全滿農村經濟への一大光明として期待されて居る金融合作社は本年度內に全滿に亘り設置される模樣であるが財政部では此農村金融の前線に立つて活躍する合作社理事の養成講習會を大同自治會舘に於て五月始めより三ケ月間に亘り施行すること理事候補者は本月中に財政部で詮衡をなし右期間學科及び實務を講習々得せしめ其後各地方に指定勤務せしめること になつて居る

四月中旬
外國貿易概算

（東京國通）大藏省發表—四月中旬十六港外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	六三、二七四
輸入	八一、七九四
合計	一五五、〇六八
入超	二八、五二〇
一月以降累計入超	九九、四〇七

尙重要品輸出入額左の如し

輸出	
生糸	九、五六八
綿織物	一三、七二二
絹織物	二、四一六
人絹織物	三、七五二
輸入	
棉花	三七、五八五
羊毛	一五、五八四

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片八分七
同 遠限	二〇片〇〇〇
紐育銀塊	四五留比八分七
米英爲替	五留仙二分一
米日爲替	三〇弗一七仙四分一
米支爲替	三〇弗五〇仙
スチール株	五三弗八〇仙
アナゴンダ株	一七弗四分一

▲印棉

現物	二仙八〇	
五月限	二仙八三	
七月限	二仙七三	
十月限	二仙八〇	
十二月限	二仙九〇	
一月限	三仙〇三	
三月限	三仙一〇	
ブローチ		一九三留比
オームラ		一七〇留比
ベンゴール		一一七留比

▲上海標金

昨止	九六三五〇	九六八五〇
高値	九六三五〇	
安値	九六二五〇	九六五〇〇
本寄	九六四五〇	
歩値	九六三五〇	七〇〇

▲上海日本向

第一回	二二三六二五
第二回	二二〇〇〇

▲上海倫敦向

賣値	一志四片一六分一
買値	一志四片八分一

▲上海紐育向

賣値	
買値	三四弗八分五 / 三四弗一六分二

各地市場

▲大連金鈔票

現物	二八〇〇〇	二七八五〇（先限）
◎近限	二八二五〇	
寄付	二八〇〇〇	
歩値	七九二五	

▲大連上海向

引値	二七九〇〇
高値	二八二五〇
安値	二七九〇〇
出高	二六八萬

▲大連煙台向

九六二五〇 ／ 九五八〇〇 ／ 八二五

▲阪神日米爲替

第一回 三〇弗八分三 ／ 三〇弗二分一

▲大阪株式

大株	二一九〇	二一九七〇
大新	一三一九〇	一三三〇〇
鐘紡	一三九三〇	一三九五〇
同新	一三〇五〇	一三〇四〇

▲同 短期

大新	一三〇七〇	一三三三〇
鐘新	一三六五〇	一三六八〇
東新	一七〇三〇	一七一一〇

▲大連株式

五品		
先限	二六七〇	二六七〇

▲大阪三品

當限	二〇八〇〇	二〇八六〇
五月限	二〇七〇〇	二〇八二〇
六月限	二〇五一〇	二〇六四〇
七月限	二〇三一〇	二〇四〇〇
八月限	二〇二三〇	二〇三五〇
九月限	二〇〇五〇	二〇一三〇
先限	一九九五〇	二〇〇三〇

▲大阪棉花

當限	一八六二〇	一八六四五
先限	八六八〇	五九七〇

▲大阪期米

當限	二四二一	二四一六
中限	二四五一	二四五九
先限	二五〇〇	二五一〇

▲仁川期米

當限	二二九〇	二三一〇
中限	二三〇〇	二三〇一
先限	二二七〇	二二四一

▲横濱生糸

現物	五三〇〇〇	五三〇〇〇
當限	五一七〇〇	五二七〇〇
先限	四六四〇〇	四六四〇〇

▲神戸豆粕

四月限	一二〇八	一二〇八
五月限	一二〇七	一二〇七
六月限	一二一二	一二一二

カルカツタ麻袋

青筋	二六留比八分三	
鐵筋	三三留比二分一	
爲替	七六留比八分五	

▲大連特産

◎麻袋		
現物		三六五厘
九月限		三七二厘
		二萬枚
◎大豆	寄	引
袋込	三三〇	三二三
四月限	三三七	三二九
五月限	三三一	三三一
六月限	三三五	三三七
七月限	三三九	三四〇
八月限	三四一	三四二
◎豆粕		
現物	一一二五	一一一〇
五月限	一一一〇	一一二〇
◎豆油		
五月限	七八〇	七八〇
六月限	七八〇	七八〇
◎高粱		
現物	一六三	一六三
四月限	一六五	一六五
五月限	一六六	一六六
七限月	一七三	一七四
八月限	一七六	一七五

新京市況

特産	現物	出來高
大豆	七、六〇	三車
高粱	三、一五	四車
包米	四、六〇	一車
小豆	八、五〇	一車

◎錢鈔

鈔票對金票	一二七、九〇
現大洋對金票	一一一、八〇
現大洋對鈔票	一〇六、
國幣對金票	[illegible]

日滿經濟ブロック
結成基礎資料（三）
畜産資源について（三）

最近の情勢

一、滿洲國實業部にては牧畜の振興奬勵と品種の改良を計畫し其の第一歩として緬羊並に蒙古馬の改良に着手し、緬羊はメリノー改良種を、馬はアングロ種、アラブ種を在來種に配し又種馬所、獸疫研究所を設置する外大同二年には豫算十萬圓を計上し獸疫講習所を開設して獸醫の養成を計り牧畜衞生の監督を行ふこと ゝせり

二、民政部にても七萬餘の全滿洲軍騎兵に配給する軍馬改良三十年計畫を樹て目下具體案作成中なるが右は日本内地産の優秀なる牡に蒙古牝を配し滿蒙の嚴寒酷暑に耐へ得る新軍馬の産出を計らんとするものなり

三、國民の必需品たる皮革の供給を目的として資本金百萬圓の滿蒙皮革工業株式會社設立の計畫あり右は最近發明のコールタールより抽出のタンニン酸鞣法によるものにして製革上一新紀元を劃するものなり

滿洲國としての利點及缺點

利用すべき諸點

一、滿蒙は家畜の飼養洽く大は牛馬騾驢より羊、豚、鷄、鵞、蜜蜂等の小家畜に至るまで毎戸殆んど之を有せざるなく殊に農民は家畜を馴らすに天稟の特技を有するを以て適當なる奬勵保護を講ずれば將來有數なる世界的畜産國となり得べし

二、滿蒙の家畜は農業經營上缺くべからざる要素にて犂耕、鎭壓、運搬、脫穀調製等一として畜力によらざるなし、更に農圃の廢物を飼料化し尙其の排泄物を肥料とするなど利益少からず

三、滿洲人は肉、毛皮、毛等の利用甚だ巧妙にして飼畜は日常生活の要素なり

四　滿蒙全體の不可耕地は五萬七千方里に達す、今假りに其の二分の一乃至三分の一を緬羊、牛馬豚等の放牧地として利用すれば土地利用の效果夥しかるべし

留意すべき諸點

一、家畜の種類多きも何れも劣等種なれば其の改良は容易ならず且つ獸畜病疫の流行、蟲害等畜産の振興を阻害するもの多し

二、元來蒙古人は日常牛乳、羊乳を以て黄油（牛酪）乃豆腐（乾酪）乃皮子、乃酒等を作れども滿洲國人は一般に之を嗜好せざるため乳及乳製品の發達を妨ぐ

三、滿洲に於ては宗教上獸肉を禁忌するものあり（滿洲人は豚肉を重用するも回々教徒は羊肉を主とし牛肉之に亞ぎ豚肉を用ひず

經營又は開發に關する參考

一、滿洲の畜産振興には牛疫の豫防、驅除法の研究並に被害、牛皮の工業的利用法の研究を先決問題とす

二、丁抹は我國の八分の一の領土を有するにも拘らず年額二億一千萬圓のバタ及二億三千萬圓のベーコンを輸出せり、滿洲は領土廣大飼料も充分なるを以て我移住農民は須く養畜農業組織を採用すると共に牛酪、ハム、ベーコン等の製造を副業として新生面を開拓すべきなり、曾つて濟南に於ける獨逸人はソーセージを製造輸出せり

三、滿洲に於ける飼料としての豆粕利用は他の雜穀殘滓に比し利益なりや否や研究を要す

四、獨逸人は靑島占領後直に乳牛百餘頭を輸入したるも一年を經ざる間に悉く牛疫に犯され全部死亡せしめたる苦き經驗あるを以て外國種の輸入には牛疫、害蟲に對する抵抗力等につき充分の研究を要し或は獸畜保險の必要あり

新版江戸八景（禁上映上演）
行友李風氏外四氏作
鏑鐵平他二氏畫

江戸役者こ御殿女中 二六
行友李風

目つきで、長持をそこへ置くやうに、人足共にいひつけてをいて手代の新吉。

『え〜、お役人様に申しあげます。——本町伊豆藏の手代でございますが、ご注文の品を持參いたしました——』

といひつゝ、品つけを差し出しました。

役人は、毎日のこと、——中身をあらためることもせず、品付けを一通りよんでみて、

『あゝ、伊豆藏か、——今日は呉服の御通りばかりぢやな』

『はい、——品物の都合にて、お藏入りは、明日にまはりました……』

屋女の一人が、

『お中老さま、ただいま、なが持が屆きましてござります』

と知らせてきた。

『えッ！では——』

菊路は、よこになつてゐた臥床から、すつくとおきあがつて、

『すぐ、これへ——』

『はい。——』

いふうちに、お万が手をとつてつれて來たのは、まちかねてゐた生島大吉のやさ姿。——

『おゝ、よう上りやつた』

菊路は思はず、走りよつて、

『まち久しう、戀こがれてをりました。——』

と、大吉の手をとつて、——みあげた目には、涙がいつぱい。

つれてきたお万が、

『さ、——人目にたつてはなりませんから、日のおちるまで、押し入れのなかへ——』

と、大吉の手をとつて、おし入れの中へ深くかくしてしまひました。

大吉は、さながら、夢に夢みる心地——。

まつ暗な押し入れのなかに、息をつめて、——もう、陽がくれるか、もう陽がくれるか、——と、そのまち遠いこと。

おし入れ近くに布團をしいて臥たはつた菊路の胸のうちとても同じこと。

人にしられる氣づかひさへなければ、いまがいまでも、おし入れからひき出して、逢ふ瀨をたのしみたいのですが、それもならないさて、晝になると、部屋女が菊路の食膳をはこんできます。

菊路は、食べたいものも、喉には通らぬ仕末。

部屋女に命じて、握り飯をこしらへさせ、——おかずをとりわけてをいて、膳をさげさせ、その握り飯とおかずとを押入れのなかの大吉へさし入れてやる。……

『さようか。——長持ちのなかには品落ちなどはあるまいな』

『はい。——充分の上にも、念を入れ、吟味仕りましたが、何、一品一品お引き合せ、讀みあはせ。——』

『よい〳〵、當方もご用繁多のをり柄ぢや、——一々中身をあらためるにも及ぶまい。——引き退るやうに——』

『ありがたい仕合せ。——』

これで、關所は無事通過。

ここで手代がひき下ると、小者の手で、ながもちは、お錠口から奥御殿の局へと運ばれます。

ながもちの中の大吉はもとより手代新吉も、ほつと安堵の吐息。

こちらは、中老菊路——

今日は、猫ではなく、本物の大吉がくるといふのですから、一刻千秋の思ひでまつてゐる。

お万はもとより、部屋女一同へは、それ〳〵、鼻藥をかがしてあるので、外へもれる氣づかひはありません。

するうちに、奥御殿の局から、部

四月廿二日 日曜　癸亥　大安　危　昴宿

●一白の人　牙城に肉薄して實戰を試むべく勝利疑なし　戌と艮と寅が吉
●二黑の人　前途の光明を期待して益々練磨の功を積め　申と癸と丑が吉
●三碧の人　大功を樹てんとして他力に依賴し失望せん　甲と坤と申が吉
●四綠の人　斧鉞に堪えず大木の倒るゝが如し控目が吉　甲と乙と申が吉
●五黄の人　輕忽なれば衰運は益々不良に傾かんとす凶　申と壬と艮が吉
●六白の人　萬事倦怠の念充滿して逡巡事を遂げ難き日　丙と子と寅が吉
●七赤の人　信望頓に落ちて同情は失はれ首尾全からず　甲と巽と丑が吉
●八白の人　業績意の如く伸ひず油斷すれば更に惡化す　申と辛と寅が吉
●九紫の人　氣運佳なれど勢に馳せて躓くことあるべし　戌と子と癸が吉

新京日日新聞
朝刊
四月二十二日（日）
發行所　新京日日新聞社　電話三二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

内蒙三千里 秘境を探ぐる（一）

牧歌は消され桃源の夢は破る 蒙民に更生の黎明

今からおよそ三十年前までの興安省、即ち西剌木倫以北の東内蒙古は原始色に彩られた王侯喇嘛の殿堂伽藍が夢のやうに浮び高原の草海に家畜の群を追つて遊牧する蒙古民族のさながらの武陵桃源であつたが熱河省を侵し盡した漢民族が日露戰爭前後から西剌木倫を渡つて北進し、無智な蒙古人から土地を奪ひ家畜を奪ひあらゆる收奪を逞うするに至つて蒙民の牧歌は吹き消され武陵桃源の夢は脆くも破られた、斯くて東内蒙古百萬の蒙古民族は僅々三十年間の漢民族の壓迫に堪へ得ずして哀れや自滅の一路に轉落し、最後の一線を彷徨しつゝある折柄　五族協和の旗風に王道主義滿洲國の成立を見、茲に輝かしき民族更生の機運は到來したのであるけれ共久しきに亘る無智と壓制とによつて造り出されたところの餘りにも低劣な蒙人の生活は一朝にして改善伸張せられるものではないそこには今後相當の長期に亘つて民族保護の政策を必要とすると共に興安總署を中心とする蒙古民族指導者達の痛ましき犠牲の血涙史の何ページかが綴られなくてはならぬであらう

本稿は内蒙奥地を踏んだ最初の通信記者として依田興安總署次長に從ひ東西内蒙三千滿里を走破した實地視察記であるが謎の秘境とせられてゐた蒙古の實情を盡すことは到底記者の企て得べきところではない本稿に於ては唯蒙古民族の現狀の一端か認識せられ蒙古統治の特殊性が諒解せられゝば望外の光榮である

蒙地の疲弊

南分省七旗の慘狀

今回の内蒙奥地視察の一行は依田興安總署次長以下、倉重畜產、川口會計の兩科長、加藤秘書　滿洲電々會社山口企劃課長及び記者の六名だけだし滿洲國大官の邊境視察は依田次長の内蒙入を以つて嚆矢とするもので三月六日、四洮線鄭家屯ホテルに勢揃ひした一行の意氣は天を衝き雪の大興安嶺を指して一路西へ！と向つたのである

鄭家屯といへば普通には滿洲の如く考へられてゐるが、此處は既に蒙古の地域内である、一行は出發に先立つて興安南分省七旗（旗は行政單位で縣に相當する）の一般狀況を先づ鄭家屯ホテルに集つた七旗の旗長に聴くその一二を摘記すると

大旗たる達爾ハン旗は事變前の大略の人口は二十萬人であつたが事變當時多數の義勇軍と匪賊がばん居して無慘な强掠を行つたので住民の八割は他の地方に逃亡し農業も牧畜も一度は殆んど潰滅の悲境に陷つた、そして治安の恢復と共に逃亡者も漸次復歸して現在の人口は約十五萬人を算するに至つたが、蒙人の生活の唯一の資材たる家畜は既に大部分を兵匪のために喰はれた跡であつて復歸した住民はその日からの生活に窮し今や全住民の四割は乞食と化し、他の四割はドン底の自活に汲々たり、殘る二割が辛くも人間らしい生活を營み得てゐる慘狀である、從つて旗公署の稅收は皆無に近く吏員や匪賊に備へる自衛團等の人件費は中央からの行政補助費（大同二年度二萬余圓）を以つて漸く支辨して居り中央に於いて極力勵奬する小學校開設の如き新事業には到底手が廻り切らない、牧畜民は放牧を止めて農耕に轉じやうとしてゐるがそこにも多くの困難があり、今や救濟要望の叫ひは全旗に滿ちてゐると悲痛な窮乏狀態を訴へ

札賚特旗では人口約二萬二千人で牧畜を主要產業とし、現在の家畜數は牛一、三〇〇頭、馬一、六〇〇〇頭、羊八、〇〇〇頭を有する、耕地は約三二、〇〇〇天地（一天地は日本の約六段）で高粱包米、粟等を產し住民の生活は一般に豐ではないがいまだ乞食化する程でもない。小學校は昨年十月に一校だけ開校し、現在數員四名と生徒八〇名を收容してゐる

旗の收入は不足のため中央よりの補助費（大同二年度一千余圓）で財政を維持してゐる狀態であるが旗内の治安は全く完全で夜間扉を開ひて就寢しても何等の不安を感じない從つて住民は生業に精勵し得られるので遠からず旗の財政も建直り諸般の施設も成し得られようと苦境のうちから前途の光明を認めてゐる旗もある、然して此の地方の農牧民の生活費は平均一ヶ月二圓位であるから多數の住民が乞食化するまでには如何に物資が欠乏してゐるかが判る又此地方は興安省内でも比較的滿洲の文化に接觸してゐるのであるが蒙古人は依然として無學文盲で今もまだ汽車は人間の脂肪で走ると信じてゐる、此の程南分省公署で一部蒙人の戸口調査を行つた所戸籍を有せず戸口調査の意味等は勿論判らぬ彼等には家族數や性別年齢等を調べられるのが誠に不可解千萬であつたと見えて遂に日本人は十八歳の女を調へてやがて何處かに連れ出して締め殺し汽車を走らし脂肪をとるのだと言ひ出したそしてこの流言は忽ち宣傳せられて相當の有力者までが流言を信じて震へ上り戸口調査に大支障を來したといふ話があつた（西藤生）

着々と進む ソ聯邦の經濟建設

興味あるその内容

擴大しつゝある支那ソ聯の内部の經濟狀態は今日外部の推測を許さぬ處であるが最近上海の某邦商筋の得た情報により初めて『ソ聯』が一九三三年から着手してゐた經濟建設の興味ある全貌が判明した、即ち

農業

黨の指導下に夏耕、春耕秋耕運動を促進した結果三三年度米穀類一割余の増收、雜穀類も増加を示した、今後は耕手組合勞働友助社の機能を高めて多耕に着手する特に促進してゐるのは經濟封鎖のため窮乏化せる木材棉花補助方法で植樹運動を起す他全力を棉作に注いでゐる、但し棉作は同年度に於いて種子と土質との選擇を誤つた爲失敗に終つたので試驗場を設置し根本對策を研究中である

工業

地方特產物は紙煙草樟腦、タングステンの生產設備を確立し内外需要に充て特に世界全資源の半以上を占めてタングステンは經濟封鎖を打破する方法最も有力な材料とする石炭鐵工場を新式に改む

組合運動

消費組合、糧食組合の發達著しく、生活必需品を市價より安價に供給しつつある上一元に付五十仙乃至七十仙の高率配當を行つてゐる、この他生產組合信用組合組織も擴大中

糧食調節工作

外敵地主の擾亂奸商投機のため招來しつつある食料難匡救の目的を以て調節局及び十二箇の分局の設置、既に月廿萬圓料の取扱ひを開始してゐる

今後更に貯藏價格調節、輸出の三工作を開始する筈對外貿易に經濟封鎖政策、ソ聯邦は縦横二百六十里に亘る封鎖網に圍繞されてゐるため貿易は甚だ薄弱であり一ヶ年五萬圓前後に過ぎないが貿易局に張化し對外通商を擴大する豫定

建設基資金

内國公債により目下三百萬圓計畫を進めてゐるのが強制割當を實施してゐるので成績芳ばしからず近く別箇の方法に變更する筈

ソ滿國境（五）

ブラゴエの全貌

ブラゴエ市波止場に於ける貨物の出入狀況に關しては最近のものは詳らかでないが革命前

	入貨量	出貨量
一九一四年	四六萬四千噸	一七萬二千噸
一九一七年	三〇萬八千噸	八萬噸
一九二三年	一四萬五千噸	一萬五千噸

其後の移出入については詳らかでない移入品中、量的に最も大なるものは木材（建築用薪用）穀物及び魚類である

石船舶航行は春季解氷後即ち五月上旬に開始せられ結氷前即ち十月中旬乃至下旬に終止する、但し、夏季減水の際は一時アムール及びセーヤ河上流地方の運行は中止の已むなきに至ることもある

二、鐵道

ブラゴエ市はウスリー本線ボテカレオより約百キロの地點に位し此の間を同鐵道支線で連絡してゐる、兩驛間は夏期約四、五時間、冬期は五、六時間を要し、一晝夜に往復してゐるが、その運轉振りは極めて不規則である

ブラゴエ驛は市の中央より約四キロの地點に位し、貨物の運搬、輸送は極めて不便な地位に置かれてゐるので數年前移轉計畫が行はれたが、何故か今だに實現を見ずに終つてゐる

三、航空

最近ブラゴエ市、ボチカレオ間の航空聯絡が開始され一日二回發着してゐる、これは郵便飛行であつて、ボチカレオに於て哈爾賓ボチカレオ航空線と連絡するものである、又最近に至つてブラゴエ市タンボフカ、ボヤルコーウオ、アルハラ線も開始せられた模樣である

商業

一、コーペラチフ（協同組合）

コーペラチフは市商業の主たるものであつた一九二九年度の統計によれば一〇〇、取引高二千五百萬留に達してゐる　主なる機關を擧げれば中央勞働者コーペラチフ、軍人專用コーペラチフ不具者組合ウオストーク等である

二、國營機關

一九二九年度に於ける國營商業機關數は五十、其取引高は一千五百萬留であつて、主たる機關は國營商業ゴルーである

三、私營商業

一九二八年に於ける個人商店數は七二一、その取引高は約一千二百萬留であつたが、その翌年二九年に於てはその數六六、取引高二百萬留に減じ最近に至つては殆んど皆滅の狀態である（終り）

發展を辿る

北滿電氣通信事業（五）

電々會社の事業を通じて見る

哈市馬家溝送信所を訪れた記者は新京、寬城子送信所より見れば小規模で到底比較にならない當放送所に一エンヂニヤとして働いてゐる露人チクノフ氏にまつはる麗はしい物語を聞いて大に感激する所あつたから次に之を記さう

チクノフ氏は當送信所に永年勤續して居るエンジニヤであるが、一九二八年支那側が當初の武力接收を行つた以後も技術者の使命の下に依然として精勵してゐた、そして一九三二年二月五日偶々反吉林軍を討伐した日本軍が哈市同送信所に向つて進擊した時も從業員全部が我れ先にと逃亡して了つたにも拘らず彼チクノフ氏は唯獨り敢然として持場を守り、機械全部を安全に保護して居つたので、當時我方は奉天方面との通信連絡に非常な助けとなつた、この奇篤な勇敢な行爲には日本軍も大いに驚いたが、チクノフ氏は「日露戰爭當時もさうであつたが日本軍は決して我々普通人には危害を加へるものでない」との强い日本軍に對する信頼の念から敢然として獨り踏み止つてゐたとのことである、其後も依然として當所に一エンヂニヤとして働いてゐるが、見るからに實直さうなガツチリした男である、記者も彼の日本人に對する深い理解と勇敢な行動には深い感動を受け感謝の握手を交はした會社は今のところ彼の行爲に對して何等表彰をしてゐないが、近く申請して彼の功績を讃へたいと言つてゐた

チ、ハルを中心として

會社は初年度にチチハル無線局の新設、送信所に於ける一キロ放送機一臺、一キロ短波長送信機一臺、空中線架渉用鐵塔（四五米）二基、二十米木柱六本の設備をなした

倘手働式電話を自働交換方式に變更して從來不便とされた手働式時代の言語上の不便を除くと共に滿洲里、札蘭屯の如き僻遠の地にも交換を開始して在住者の利便に供した更に北安鎭、進んで大黒河、富錦等の國境近くにも夫々電報局を新設してこの地方に在住或は進出するものに對して非常な便益を與へつゝある、然し奥地通信施設のこの發展の蔭には從業員の身命を堵しての涙ぐましい奮闘の數々の物語りがあることは吾々の見逃してはならないことだ

かくれた之等功勞者の苦心の數々をハルビン管理處時吉營業科長の談から拾つて見よう

極く田舎の局所に單身乘り込んで業務に勵んでゐるものゝ苦心と云つたら体驗したものでない以上到底想像もつかないことです、第一之等田舎には電報の利用者と云つても極めて少數なので會社としては費用の點から二人以上の人員の配置が不可能なので一人しかゐないから晝夜の別なく仕事をしなければならないし、又何時如何なる方面から危害を加へられるかも知れないと云ふ生命上の不安があり更に住むに適當の家無く食物さへ思ふ樣にならず、毎日支那食のみで滿足する外ないといふ現狀で、これを實地に見てゐる吾々としてはこの人達に對しては本當に氣の毒だと思つて居ります

吉林

吉林の電氣通信機關としては吉林電報電話局、吉林新開門日文電報局があるのみだが加入者は滿洲事變以來加速度的に増加し、大同二年九月末一千未滿のものが現在では千三百五十に達し而も益々増加の傾向にあるのだから之が躍進しつつある吉林の姿であらう

舊政權時代手働式とサービスの不良の爲加入者は尠からず惱まされてゐたものだが、電々會社では工費四十數萬圓を投じて施設の改善を行ひ、本年三月一日には市民待望の自働交換の切替を斷行し、絕大な好評を博してゐる

家屋競賣廣告

一、當社事務所
公主嶺敷島町一丁目參番地　宅地一一五一平方米四三（參四九坪）所在
本家、煉瓦造鐵板覆西亞葺平家一棟此面積二四三平方米一二五（七三坪五合）
附屬倉庫、煉瓦造鐵板葺平家一棟此面積三一平方米五（九坪五合）

二、一號社宅
公主嶺稲荷町二丁目十五番地　宅地一〇九九平方米二二（三三二坪五合）所在
木家、一戸建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積一一四平方米九二（三四坪八合）
附屬倉庫、木造鐵板張一部煉瓦造平家一棟此面積四三平方米九（一三坪）

三、二號社宅
公主嶺稲荷町二丁目十六番地　宅地九二二平方米二四（二七九坪四合）所在
本家　四戸建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積二三九平方米二五八（七二坪五合）
附屬物置木造堀立鐵板張二棟此面積二六平方米四（八坪）

右當社所有家屋ヲ左記ニ因リ競賣可致候

一、競賣期日　昭和九年四月二十八日午前十時
一、競賣ノ場所　當社
一、競賣方法　入札
一、開票　即時
一、保證金　入札價額ノ二割以上ヲ入札ト共ニ納入
一、競落代金拂期日　昭和九年四月三十日
一、家屋受渡期日　同日但シ會社事務所及二號社宅四戸建ノ内一戸ハ當社ノ清算事務結了迄（本年六月末ノ豫定）當社ニ對シ賃貸スルモノトス
一、入札價額ニシテ何レモ當社ノ豫定價額ニ達セサル家屋ハ即日再入札ニ付ス

昭和九年四月二十三日
公主嶺敷島町一丁目三番地
公主嶺取引所信託株式會社
清算人

北鐵讓渡の交渉 再び急角度の好轉

廣田外相の倦まざる斡旋

遂に今日の妥協へ

【東京國通】北鐵交渉は廣田外相の好意ある斡旋により滿ソ兩國の

＝態度＝ も妥協的となり最近にソ聯側より北鐵讓渡の具体案を提示し來つたので滿洲國では之が對案を練りつゝあつた者に委ね度いとて正式會商を開催すべきか又は專門家の會商を先づ爲すべきかを明確にし然る後正式會商に移すべきかの折衝方法に就き隔意なき意見の交換をなした、昨秋怪文書事件によつて頓坐した北鐵交渉は廣田外相の倦まざる斡旋努力によつて去る一月五日再開に漕ぎつけ爾後引續き兩者間を斡旋し日ソ外交の好轉を策し全然白紙に返つて妥協的態度條件を提出せしめ今日の穩和な

＝空氣＝ に導いたもので行惱みの北鐵交渉も二十一日の會見によつてこゝに急角度の轉向を見せ前途愈々有望を思はしめるに至つた

ボグラに 日本領事館

（ハルビン國通）日本外務省ではソ滿東部國境ボグラニチナヤに近く領事館を開設することゝなつた、ハルビン總領事館では目下建物を物色中である

が、二十一日漸く出來上つたので此の旨大橋次長より外相に申し出でた、依つて廣田外相は駐日ソヴィエート大使ユレニエフ氏の來訪を求め滿ソ兩國の讓渡具体案が出揃つたが今後の折衝は滿ソ兩國代表

通車、通郵問題の 反對を押ふ

立法院秘密會議において 汪精衛辯明に努む

（南京廿一日發國通）立法院の要求に應じ汪精衛は廿日朝の立法院秘密會議に列席し對日交渉の經過を説明したる後通車通郵問題は目下交渉中で未だ最後案の決定に至らず對日交渉方針は今後も國權を喪失せずとの原則に基き行はれるものであるから國人は深く自ら愼んで政府の交渉に一任せられたいと述べ委員等は之を諒として散會した、南京政府の北支交渉に對する主なる反對は之を以て押へられた譯である

滿洲は自家用發電がないから簡單にゆくものと思ふ、然し自分は今度は電氣合同とか料金の問題等については觸れてゐない

雪崩れ込む支那苦力 大連、營口だけで十五萬七千名

（奉天國通）王道滿洲帝國の建設事業は世界第一の景氣を示し解氷期と共に俄然都市に地方に土木建築の鎚音響き渡る折柄支那苦力は便船を利用し續々海陸兩路より雪崩れ込んで居るがこれを大連、營口安東の三港よりその入滿數を見れば例年に比し左の如く何れも激增を示して居る

（本年一月より三月迄）

大連　一五二、八七四名で昨年同期に比し三〇、五八名增加

營口　四、六八〇名で昨年に比し一六〇名の增加を示して居る

安東は本期中は結氷し船舶の航行なく確數なきも同樣增加數を豫想されその他山海關古北口、との陸路關門を通過

佛外相が自ら

各國說得に出馬す

軍縮英國案を蹴つて

（パリ廿日發國通）廿日英國の軍縮覺書に關するフランス政府の對英回答は事實上英國案を拒絕したものとしてドイツの聯盟脫退以來英佛獨伊の四ケ國に續けられて來た直接交渉は今や全く絕望に陷つた茲に於てフランス政府はポーランド並に諸協商國を說得しフランスの立場を支持せしむべく先づバルツー外相をポーランドチエツコスロバキアに派遣することとなり、バルツー外相は右使命を帶びて二十一日出發ワルシヤワプラーグを歷訪、重大外交の交渉を行ふこととなつた右兩國の會商の主題たるべきフランス政府の新しき對軍縮方針は次の如きものであらうと言はれて居る

一、直接交渉主義を棄てゝ一般軍縮會議に復歸することを要求すること

一、右一般軍縮會議に於てフランスは左の如き三項を具体化すべき方式を提案する

イ、軍備擴張競爭の排除

ロ、ドイツの再軍備承認を含まざる軍縮

ハ、加盟國凡ての安全保證をする

百萬圓必要になるのだが之は短期借入金によつて補充するつもりだ、今度內地に行つて奇異に感じたのは從來水力發電によつてゐた內地電氣業界が最近火力發電に移りつゝあることだ之は機械の進步による發電コストの低下によるものらしい、內地の電氣合同は自家用發電が多かつた爲め非常に困難だつたらしかつたが

各船會社とも 傭船に奔走す

海運界好轉から傭船料も騰貴

【東京國通】船舶改善施設による海運界の全般的好轉から最近內地傭船料が續騰し不定期船主は漸次適船物色難に陷りつゝあるが、海運業者としては漸く季節的荷動きに入るので內地市場に見切りをつけ海外市場の割安の傭船に手を染めてゐる、現在迄に傭船契約成立のものは各社とも內密にしてゐるが山下汽船の大形船九隻を筆頭に合計廿六隻十五萬噸內外は契約濟みと觀られてゐる、右外國船傭船の內過半數は支那籍船で他は英國及びノールウエイ船であるが特に興味あるのは之等支那船の多くが日本からの購入船であることである

社債募集は旨く行つた

入江滿電專務談

（大連國通）上京中の滿電入江專務は昨二十日はるびん丸で歸連したが語る滿電の社債一千萬圓に山一、野村と大體諒解成り五月一日を期して發行することゝなつた外に建造資金として二三

糖業聯合會

政府の意圖に反對

日蘭會商の前途に一抹の暗影

（東京國通）日蘭會商で問題となつたバーターシステムの日本側の輸入品として可能性あるのは砂糖であるか之に就て商工省では糖業聯合會に諮問したところ聯合會では昨日協議會後最後意見を纏め砂糖輸入の不可を答申し政府の意圖と正面衝突し會商の前途に影響一抹の暗影を投げた

オランダ側の意向は日本よりの綿布雜貨の輸入を認め日本のジヤバ糖輸入增額を希望して居るが、我產糖額は明年及び後年引續き增額の筈で明年四月は百五十萬ピクル過剩の狀態で輸出市場は之以上困難で歐洲の輸出も歐洲の甜菜糖增產のため不可能なる故輸入增額は不可能である

糖業聯合會の 意見書

（東京國通）糖業聯合會は商工省より日蘭會商に意向を求められ意見書は目下作成中だが大体左の通りである

日蘭會商の 代表長岡越田の兩氏

五月十日頃出發の豫定

（東京國通）廣田外相は日蘭會商はコライン首相の蘭印訪問か中止される も豫定通り開催の意向で議題に就いては武富公使が和蘭政府と折衝中だが、我方としては五月二十五、六日頃開始の意向で二十四日の閣議で長岡大使、在バタビア越田總領事を政府代表に任命することとなつた、長岡大使は五月十日頃出發の豫定である

滿洲國辭令

任特殊警察隊警佐（委任二等）　深野秀久　甲斐求武

各通

任特殊警察隊巡官（委任三等）　井原歲一　鈴木關治　鵜□彌一　野呂英治　關根体重

任哈爾濱特別市公署技士（委任六等）同工務處勤務所勤務ヲ命ス　新美誠一郎

轉任馬制局屬官（委任六等）　瞻榆縣屬官　奧保城

司法部屬官　平澤常彥

轉任實業部屬官（委任二等）同部農務司勤務ヲ命ス

安廣縣屬官　山內秀雄

休職ヲ命ス

遼中縣屬官　五十住貞一

休職ヲ命ス（四ケ月間）

滿鐵辭令

新京高等女學校教諭　野口壽美

兼舍監

待命を命ず　野田計明

新京商業學校教諭に任ず　岡野達郎

新京高等女學校教諭に任ず　鵜塚逸男

佐賀縣公立小學校訓導　野口貫

新京西廣場小學校訓導に任ず

福岡縣公立小學校訓導　坂本吉男

新京室町小學校訓導に任ず

新京中學校教諭　加茂弘

新京中學校舍監に兼任す

新京商業學校教諭　戒田貞道

新京商業學校舍監に兼任す

在滿領事會議

五月六日から開く

本省から柳井第三課長列席

（東京國通）外務省では五月六日より九日まで新京にて在滿領事會議を開催することに決し本省より亞細亞局第三課長柳井恒夫氏が出席のため既に渡滿したが今回の領事會議の議題左の如し

一、在滿領事館警察の配備に關する件

一、在滿邦人特に朝鮮人保護に關する件

一、滿洲國日系官吏に關する件

田中博士渡滿

（東京國通）心理學的に見た日本人の特徵を研究し「日本民族の將來」といふ論文を發表した東京文理大教授田中寬一文學博士は更に東洋民族の

讀者の聲

馬車夫の嬌慢 何んとかならぬか

＝一市民の投稿＝

最近の馬車夫、洋車夫の橫着にはつたのにも全く困りものだ殊に馬車夫に至つては甚しい事變前は『マーチヨウ』と呼べば、それこそ我先に走つて來たものだが、近頃は呼んでも、そ知らぬ顏で行き過ぎ或は『ウオデメシメシ』とすましたものだ、こんな時內地から來たての者或はハイヒールや紅樓の婦人が黃色い聲で呼ばうものなら跨に梶棒を突き込むくらひに走つて行く、これに對しては馬車組合等でもう少し馬車夫を訓練、善導すべきだ、少くとも客が降りる時「謝々」ぐらいはいはせてよいと思ふ、次に料金だが力のない婦人、子供等には馬鹿に高いことを吹きかけそれを支拂はぬと歸さぬといふ樣なことをあへてするにおいてはたゞ驚くの外はない、勿論これには乘客にも一部の責任はある、無意味に多額の料金を支拂ひ、彼等をつけ上がらせたり、若くは僅少に失し、憤慨させたりしたこともあらうが、事變前に比し彼等の懷工合がよくなり、爲に嬌慢になつた事は爭へぬ、何れにしても、王道の都、新京の公衆の交通機關である馬車、洋車が市民の要求に應じないこと或は脅喝行爲を敢へてするといふにおいては何んとか考へなくてはならぬ問題である兎に角馬車組合の考慮を促して已まない（一市民）

する苦力が曾て見ざる狀況で的確な入國數は判明せぬが夥しいものとみられ正に滿洲國の建國景氣の旺盛振りを示して居る

メーデー目指し ソ聯過激派 ハ市で蠢動

（ハルビン國通）最近北鐵沿線よりソ聯側急進派從業委員が來哈しソ聯總領事館に會合して何事か協議の上歸任してゐると傳へられて居るが右は來るメーデーのプログラム第十七回共產黨大會の北滿に關する協議に基く指令を受けた爲めであると推察されてゐる

松花江の河開く

（ハルビン國通）松花江にも春が來て完全に解氷した當地から下流へ向けての第一船三江號は愈よ廿二日午後三時發の船客雜貨を腹一杯積んで先づ通河まで初航行と決つたが本年からは警備兵が各船に乘込んだから安かな船旅が出來る譯である、尙富錦行第一船は二十五日出航の筈である

僻地社員へ 滿鐵慰安設備

（大連國通）滿鐵地方部社會係では圖們、新京、チチハル各建設事務所管內の僻地に建設事業にたずさはつて居る滿鐵社員の無聊を慰めるため慰安設備を考究中だつたがこの程取りあえず蓄音機三十八臺レコード一、三〇四枚及びラジオ二十五臺を購入各建設事務所宛送つた今後も引續き此の種慰安設備を完備することとなつた

研究を行ふため、廿日夜九時四十分東京驛發列車で助手四名を伴れ渡滿の途に就いた

陸士戰跡 見學團

赤鹿中佐等準備のため來滿

（大連國通）末松中將の率ゐる陸軍士官學校滿洲戰跡見學團約三百名は來る二十六日釜山上陸五月二日入京、安奉線沿線南滿の日露役戰跡を見學する豫定であるが一行に先立ち同校教官赤鹿中佐以下佐藤玉置兩少佐等は見學旅行下準備のため二十日はるびん丸で來連した、一行は奉天以南及び安奉線の各戰跡について見學準備を進める筈である

漳州米人學校 教師が 支那の軍事顧問に

（東京國通）二十一日某所着電によれば福建省漳州の米人經營ミツシヨン、スクールの校長は支那側の東路總指揮部名譽顧問に擧げられ他の二名の米人は同部の銃器工場の指揮官に當つて居る、尙福建省方

地方事務所 雇傭員に昇給

全部で八十三名か けふあすに辭令を交付

新京地方事務所では雇傭員の昇給について曩日來調查中であつたがいよいよ人選その他も決定し四月十六日附を以て今明日中に辭令を交付することになつた、その人員は雇員十七名、傭員級日本人六十六名、滿洲人四十九名で日給二圓五十錢以下は半年、以上は一年を經過したもので雇員五錢、傭員日人三錢、滿人國幣二錢であるが、勤務成績によつてそれぞれ上下があり中には傭員級で一躍五錢、雇員級で八、九錢のものもある模樣である

紡聯委員長 大日紡菊地社長に決定せん

（大阪國通）阿部房次郎委員長辭任に關し委員側は極力慰留し來つたが翻意せぬので第二段の策として後任詮衡に着手したが大勢は大日本紡績會社の菊地社長に傾いてゐる二十六日の總會までには具體化の模樣である

產金買上げ價格

二十一日財政部發表、產金買上價格は左の通り

一グラムにつき　三圓一角

滿日の交通頻繁に 優秀船二隻建造

（東京國通）日滿兩國の緊密なる提携により關釜聯絡船は現在三隻で輸送して居るが每日百五十名を置き去りにする狀態なので鐵道省は今回六千噸級二隻を建造する事に決した新造船は速力二十三ノツト現在の九時間を二時間短縮する世界的優秀船である

歸連の經調 岡田氏談

（大連國通）東亞經濟調查局の年度末總會に列席旁々裏日本航路の終端港視察のため赴日中の滿鐵經調主查岡田卓雄氏は二十日歸連したが語る裏日本航路は新潟、伏木、敦賀の內の一港に限定するのは背後地港灣施設の關係上不利でやはり雄基、羅津清津同樣三港併用主義をとらねばうそだ、調查局は大川理事長を失つたとは言へ益々各方面のオーソリチーを網羅して活動する筈である

舊紙幣の回收

期限間近に迫つて

中銀で宣傳ポスター揭示

滿洲中央銀行の舊紙幣回收は極めて順調に行はれ既に八割二分の回收を終つたがいよいよ來る七月一日舊曆五月二十日を以て期限としそれ以後はその効力を失ふことになつたので、一般舊幣所持者は一日も早く國幣と交換するやう中央銀行では「舊幣將廢、快換國幣」の宣傳ポスター多數を作製し新京を始め全滿各地に揭示することになつた

遼西に花と散つた 特志調查隊員も 靖國神社へ合祭

（奉天國通）滿洲事變勃發後遼西地區の兵匪狀況偵察の特別任務を帶びた特志調查隊足立隆成、倉尾繁太郎氏以下十三氏は昭和六年十月二十日千山出發同方面に向ふ途中盤山縣砂嶺に於て老北風靑山の合流匪一千に包圍され壯烈なる最後を遂げたが關東軍其の他當該官廳の心ある取計ひにより今回靖國神社に合祭される旨各遺族に通知があつた、右通知をうけた各遺族は何れも皇恩の厚大なるに感泣しつゝ來るべき春季大祭參列のため渡日の途に就いた

射擊の名手 卅萬壯丁で ソ聯軍隊を編成

（ハルビン國通）露人の報道によればソ聯軍部では射擊の名人とされてゐるリクソウウカロノロフの名を冠した壯丁三十萬人を以て新軍隊を編成する計畫で之がため職業同盟會員は俸給の二分を貸出す事になつてゐる

面で蔣介石は米國に或る種の利權を提供し米國から軍器二千五百萬弗の援助を得る密約が成立したと噂されてゐる

岡本一巳氏 起訴に決定

（東京國通）在りし日の桂公の愛妾として知られたお鯉さんを使嗾して僞證せしめた事實明確となつたので問題の人となつた岡本一巳氏に對し檢事局では岡本氏を二十四日誣告並に僞證教唆罪で起訴することに決定した

犬養木堂翁の 銅像建設

（岡山國通）昭和七年五、一五事件で尊い犧牲となつた故犬養前首相の功績を傳へるため、今回鄕里岡山に銅像を建立する事になつた

東部線に 警乘兵を增加

（ハルビン國通）日本軍の出鼻をくじくため頻々として起る北鐵東部線の列車事故に日滿當局ではこの列車事故を防止するため國際列車普通列車貨物列車にも日本兵の警乘兵を增加し萬全の策を講ずる事となつた

伊通縣黃嶺子に 匪賊

（奉天國通）當地への情報によれば十九日午前七時頃伊通縣黃嶺子附近に於て匪賊約二百は同地通行中荷馬車八臺及び修繕のため公主嶺へ運搬中の乘合自動車を襲擊　馬車夫某を射殺、馬匹及び金品其他を强奪し南方へ向つて逃走した

關釜間優秀船 建造計畫

（東京國通）鐵道省經營の關釜聯絡船は滿洲事變以來乘客激增し每船とも收容しきれないので鐵道省では優秀な新船を造ることになり計畫中である、日本に現在ある秩父、鎌田、上海、長崎丸等の最優秀船を凌駕する時速二十三ノツトの日本一快速力を出す聯絡船を建造するに決定し、その定員は千五百名で約六時間半乃至七時間で關釜間を聯絡し更に全船を三等客優遇の主旨で造る豫定であると

鐵道事務所 近く出入記者を 龍首山へ招待

新京鐵道事務所では五月上旬ころ在京新聞通信社鐵道事務所出入記者六七名を滿洲唯一の勝景地鐵嶺龍首山へ招待して春の散策氣分を滿喫すると

遺骨還る

二十二日午前八時三十分發列車で步兵第十一聯隊の故金井軍曹の遺骨一体が南送される

偶語

憂鬱な戶內生活からヤツト開放されたかと思ふと、またしても不愉快極まるのは黃塵の渦卷だ▲切角朗かであるべき春も連日の蒙古嵐に吹き捲くられて消し飛んでしまふ、泣きたくも泣けないこの現狀を何とか救濟の方法がないものか、と滿鐵衞生係あたりでもいろいろ考へてはゐるが▲お馬のおしめはあの通りみごと失敗に終へたしこのうへは萬遍なく撒水するより他ないといつても、僅か二台の撒水自動車が主要道路を驅け廻つて見ても追つつかない▲根本原因は急激な發展に伴ひ道路その他施設の不備にあることが判れば名案がないわけでもないが▲それも當分見込がないとあればいつこの黃塵地獄から救はれるか誠に心細く情けない限りである▲思出せば不愉快は追端に幾らでもころがつてゐる驛前と病院の馬車夫などもその最たるもので首都新京の大恥辱である▲彼等は新來者か女子供でない限り乘車を拒み僅か一、二町足らずに二十錢三十錢の賃金を要求してゐるは周知の事實で▼監督又は取締りの局に當る人々が知るか知らぬかいつまでもそのまゝで棄て置くのは全く合點がゆかない

新京ロシヤ人會新京會館主催函館罹災者救恤舞踏會收支計算書

収入ノ部

項目	金額
入場券賣上高（三圓券一三六枚／一圓券一五八枚）	四八八、〇〇
賣店賣上高	一五八、〇〇
生花、テープ、チヨコレート賣上高	一九七、八五
計	八〇六、九五

支出ノ部

項目	金額
ダンサー謝禮及會場設備費	二〇〇、〇〇
賣店料理材料仕入代（インペリアール拂）	八六、四五
ビール、サイダー代（新京會館）	四三、二五
生花代	二〇、〇〇
新聞廣告代（三回分）	一五、〇〇
入場券印刷代	三、〇〇
テープ、切紙代	三、五〇
樂手心付	一〇、〇〇
ボーイ心付	五、〇〇
取片付代（女二人分）	三、〇〇
馬車代	七〇
ベス代	九、〇〇
廣告用紙	九五
計	四二一、九九
收支差引純益	四四四、九六

舊露西亞人會長　エボフ

會計檢查員幹事　サヴランスキー

極東大會日本參加絕…

極東大會單獨參加に反對運動猛烈

陸軍少壯派いよいよ起つ

賣國的行爲と斷定

(東京國通)日本の極東大會參加進退を繞る反對運動の中に在京陸軍少壯有志が日本の單獨參加は賣國的行爲なりとの見方から愛國學生聯盟等の反對團体を相呼應して參加阻止運動を起した、その運動の第一着手とし將校有志は或る團体の名を以て本日中に体協に對し日本の單獨參加問題を

一、國民外交を破壞するものなり

一、リットン報告書を日本自ら裏書するものなり

一、純粹のスポーツ精神に反するものなり

と三個條に亘り質問しこれに對し反駁を加へた後出發されたしとの最後通牒的聲明書を手交する事となつた、若しこの運動が奏効せねば第二、第三の手段を講ずる模樣で成行は注目されて居る

又永井拓相はヒリッピン行選手の旅費の中には滿洲國選手の旅費も加入されて居りこれは閣議で決定したのでなく閣僚間の申合せであるが今滿洲國を出し拔いて單獨參加するとあつては斷然旅費の交附はしない

滿洲國体協　西山副會長入京

(東京國通)過日來朝の鄭總理に隨伴して別府に滯在中であつた滿洲國體育協會副會長西山政猪氏は一行と別れ二十日午後九時二十分東京驛着列車で藤森、茂木兩滿洲國體育協會駐日代表其他多數日滿關係者の出迎へを受けて入京した

日本の參加遂に不可能か

外、拓相反對意見

(東京國通)日本の極東大會單獨參加に滿洲國內在邦人の憤激をかい、その反對運動は俄然猛烈化して來たが、一方日本陸軍少壯有志間にも背信的行爲なりとの見地から愛國學生聯盟等の反對團体と相呼應し參加阻止運動を起すに至り最早國內問題化せんとする形勢に立至つたが本日滿洲國体育協會宛某處よりの來電によれば右情勢に鑑み廣田外相竝ひに永井拓相は左の如き反對意向を洩して居り日本の極東大會參加は九分五厘まで不可能となつた、廣田外相談

滿洲國の參加問題が日本体協に取上げられて居ない時ならば話は別だが一旦日本体協が取上げて滿洲國の希望を容れて居る以上滿洲國の參加が出來ぬと言ふなら日本は參加すべきでないおそらく總理の考へも自分と同じであらう、若し還つたら若い者が承知をしまいし兎に角善處する

駐日協和會代表　公開書手交

(東京國通)滿洲國協和會駐日代表小林鐵太郎氏は在滿邦人有志、在滿言論機關日本國內有志諸團体を代表して文部大臣閣下に奉る公開の書及日本体育協會に呈するの書(同文)を携帶廿一日午後零時四十分總理大臣および文部大臣秘書官を訪問、尙午後一時には日本體協高島主事を訪問し右文書を夫々手交した、尙同代表は秘書官に日本體協の單獨參加の及ぼす影響及重大なる結果に就き詳細說明した

□皇紀二千五百九十四年四月廿一日文部大臣に奉る公開の書

□大日本體育協會に呈する公開の書

主　文

代表役員を送る可し、代表選手は絕對送る可からず

理　由

一、國民外交

(イ)滿洲國を伴はずして日本が單獨參加をなすは日滿兩國々民の融和を阻害し且つ兩國間の緊密不可分なる友好關係を破壞す

(ロ)リットン報告書は『滿洲は日本一部軍閥の所業により發生したるものにして、日本國民は何等關心を有し非ざる』が如く記し外人諸新聞の見解亦これに從ふ、萬一日本の單獨參加あらんか、これ即ちリットン報告を裏書するものと言ふべく果して然らば日本國民自ら既に影薄きリットン報告に生色と活氣とを注入する如き結果となる外紙は直ちに云はん『見よ日本國民が滿洲國に關心を有しあらざる證左茲にあり、純眞なる青年スポーツマンは滿洲國選手を伴はずして比島に渡り嬉々として日日競技しあるにあらずや』と

(ハ)大國の襟度はことの自國に關すると否とに拘らず世界正義確立のため不正を懲し正義を斷乎主張するに存す、かりそめにも自國傳統の正義感に出發して承認せる滿洲國が支那の不正不合理に阻まれ悲慘なる恥辱を受けあるを知つて然も耳を蔽ひ國帑の補助を以つて極東大會に卑屈的參加をなさば日本國民の正義感が地に墮ちたるを世界に公表する事となり大國民たるの資格は泥土に委せらる可し

二、亞細亞百年の大計

(イ)亞細亞百年の大計は亞細亞人自ら和衷協同奮闘努力白人の手を拂つて自力更生し大同團結以て世界正義の確立を宣誓するの外なし

(ロ)これを以て亞細亞の各民族各國家各地方は盡く亞細亞の親睦大同團結の大目標に向つて直路邁進せざる可からず

(ハ)萬一一國一地方一民族がこの大目標に背馳逆行せんか、單にその國その地方その民族の不幸たるに止らず亞細亞全体を暗黒に投じその將來を破壞するものなるにより亞細亞の全民族はこれに對し猛省を促すべき義務と責任を有す

(ニ)支那今回の擧は特に亞細亞大同團結を破壞するものなるを以て亞細亞の盟主たる日本は卒先これを排撃し他國をも合流協力せしむ可きものとす

(ホ)日本は大義名分により行動を律すべき事を身を以て範を垂れ以て亞細亞諸國に敎ふるところなかる可からず

三、スポーツ道の使命

(イ)早く走り、高く跳び上く泳ぎ、遠く投ず單にこれをもつてのみ技を競はゞ如何なる選手と雖もサラブレットに及ばず、鳥に及ばず魚に及ばず、ニューギニアの土人に及ばず、これらをもつてメンバーを作らば榮冠第一等たる事疑なし、勝たん事をのみ念願とするがスポーツマンの心理ならば彼等の理想は馬なる可く魚なる可く、土人なる可し、馬たり鳥たり土人たる事を理想とする變態的國民に國帑を費さんとするならば豫算は宜しく松澤病院の擴張費目に轉用すべし

(ロ)國際体育競技に臨む國家の態度は勝ちたること自体を喜ひ、敗れたること自体を悲しむべきものに非ずして、選手は完全なる信頼を有し、身体健全なるか故に……年を有すと誇るべきものなり

ギリシャオリムピックの精神こゝにあり、國帑の補助を以て選手を送る所以又こゝに存せずんばあらず　然るに何ぞや、帝國の守護神靖國神社十二萬六千柱神々の御神意の啓示を奉戴する事を忘れ祖先流血の地滿洲國の選手を伴ふ事を怠り獨り得々として勝負の末を爭ふが如き選手ありとせんか之亦スポーツ道本來の使命を沒却し斷じて大日本帝國代表選手たるを許すべからざるものと云ふべく斯る選手に對し國家は禁止をこそ命ずべけれ補助を與ふるが如き理由は毫末も存在せず

而れ列記するところ日本國民として聊かの疑念を差し挾むところを見出す能はず、文部省は日本体協が將又日本選手がマニラに行くと謂はゞ良く白日の下吾人提出の理由に對し逐條明快なる辯駁を加へ、自己の行ふところが世界に誇るに足る斯道の大精神に合致する所以を明かにしたる後に行け、妄りに國帑を費し恥を海外に曝らさんとする官吏あらば國民あらば、全日本人知らずして或は默するも昭々乎として明かなる桃山の鸞明治大帝の御英靈續くは靖國神社十二萬六千柱の御神意忽ちにして怒りを發し給ひ神罰頭上に加はらんのみ、嗚呼恐るべきかな神國日本、神民共に不義を許さず、これを要するに左記各點國民の問はんとする處に對し明答を與へたる後送り得るものあらば日本選手を送るべし

一、何故にリットン報告を裏書せんとするや

一、何故に亞細亞の親睦團結を害する者と與するや

一、何故に國民の代表たり得ざるものを代表選手として送るや

春競馬第一日

陽春の劈頭を飾る新京競馬は折惡しく强風に見舞はれたにも拘らず我こそ大穴を當てんとするファンが押寄せ熱狂的幾シーンを展開人氣を呼んだが、けふは日曜のことゝて早朝來ファン殺到盛況を見せることであらう

大正寺詰　甲斐布敎師稿

『哲人！結論！』東部席からの要求です

「宜しい！では結論に入らう」

愈々哲人が結論に入ると申します、之からが彼の所謂「流水任運」の持論です

「諸君は！」

サテサテ達磨の再來かと思はれる嚴めしい哲人が破顔微苦笑と來たからコトです

「蜜蜂と菜種子との戀を知つてるか……」

不思議と云へば不思議です彼は今こそ結論に入る…と申しましたのにだのに「蜜蜂と菜種子の戀」…とは？……

「ハハ…ハハ…」

暴笑です一同擧つての……哲人暫時立往生の形です

「哲人！先を賴む！」

頓狂な彌次が飛ひます

「諸君！興奮しちや駄目だ…まア靜かに僕の結論を聽け」

「謹聽!!」

K君が大聲に叫ひました、場內が亦元の靜けさに歸るを待つて……皮肉一彈！

「諸君！眞白面に聽け！僕の云ふ「蜜蜂と菜種子の戀」……見えます、冷かな理智の裏に「蜜蜂と菜種子の戀」等と口にするだけでも人間らしい温味を感じさせられます

「乞！一說!!」

漢語の彌次が飛び出しました

では之から蜜蜂と菜種子の戀物語を始めませう……」

「シイシイ」

此處彼處に靜止のロスサビが起ります

等閑な春の野原に名もしれぬ千草小草の花が咲き亂れております

論鋒一轉！哲人は子供に童話でも話すかのやうにいと軟かに說き始めました

彼方…此方の田や畑に白黄紅の色交ぜてそれはそれは……る程の平和さです……と思はれ……

『ウマイゾ哲人！』

誰かゞ話につりこまれたらしいです

「此の平和な花園の程近い村に人間に保護されている蜜蜂の宿が有りました」

「何方が男か！」

ユーモアーな彌次！一同失笑……

蜂は何時も此の菜種子の花園に來て働きました

菜種子サン！何時も貴女方の國に來ては御美味しいおいしい蜜を戴いて私達は何と御禮申していいやら解らない程です御陰で私達も子孫を殖して生れ來た蜂の務めを完うさして頂けてこん……

哲人は彼自ら蜂になつたつもりで菜種子に私語いているやうです

「イイエ！蜜蜂サン！御禮は私共からこそ申し上げねばならないのです、實を申せば貴殿方がこうして每日遊びに來て頂く御陰で私達も安らかに實を結ぶことが出來きそして軈て私共も第二の一族を此の世に殘すことが出來るのです」

諸君！以上が蜜蜂と菜種子の戀物語です、聞いてくれ何と羨しい私語きだらう…何と平和な世界だらう！…」

「其で終りか！」

名殘り惜しいとでもいつた彌次です

「否!!」

名實兼備の統制機關に

滿洲國体協を改組

過般の上海會議の決裂に依り事實上極東大會參加が絕望となつたに鑑み滿洲國体育協會では先づ內部的に統制と結束を固め將來の競技發展に實力主義で進むことになつた、即ち同會の統制下に野球、庭球馬術、蹴球、籠球、滑氷　陸上等の各協議會を置きこれを細胞的に支部、分部に分け地方官廳、民間と密接な連絡を保ち施設の完備、選手養成体育思想の普及に力を注ぎ更に治安回復、地方には出來得る限り競技會を開き政治工作に協力する企てである、而して前記統制については豫算の許す範圍內で早急に成立せしめる方針で大体本年中には完成するものと觀られて居る

質の惡いルンペンに

當局の眼光る

强請がましいのはすぐ交番へ

暖かさにつれてルンペンの群續々と新興大滿洲國の首都新京を目指して押寄せ就職に奔走するが豫期した樣に居職はされず、その內に宿泊料は拂へず仕方なく縣人會員を賴り無心を願ひ、主人が不在中と見るや腰を下ろし脅迫的に出る者があるが、新京署ではこれ等に對し徹底的取締をなすためこうしたルンペンが訪れた場合は最寄の警察官派出所に届けられたいと

竣嶺書展

極めて好評

日本書壇の巨匠竹內栖鳳氏門下の逸材大矢峻嶺書伯の日本書展を二十一、二兩日地方事務所社會係後援の下に永樂町扇芳グリルで開催中だが作品は半折紙本小品書のみ三十餘點で新京では近來にない名作揃ひとて頗る好評を博してゐる、時間は午前九時から午後七時まで

建築場など

强風被害

砂塵を抱いた風速八メートルの强風が二十一日の朝から新京一帶を襲ひあちこちのトタン屋根をはぎとり又は窓硝子を破壞したが、この外建築途上にある工事場等にも相當の被害がある見込である

南支への旅（六）

新京高女修學旅行團

上海第二日（上）

三月三十日　午前六時半起床八時半徒歩にて宿の近くにある虹口マーケットを見る。三階建の堂々たる市場で東洋一の呼ばれてゐる。朝三時から正午までの賣上高五萬弗。先づ眼を引くのは早春を飾る花の美々しさだ。カーネション、バラ、ヒヤシンス、スイトピー水仙、木蓮、等等の切花が眼もさめるばかり美を競うてゐる。果物も豐富だ新京では見當らぬ果物の王樣マンゴーや蜜柑ネーブル等果々と山をなしてゐる。枝つきのバナナが房々しく垂れてゐるのも珍しい二階に上る。ギャラリーではポカポカ湯氣のたつ豚饅頭を賣つてゐるほんとに美味さうだ。ギャラリーから下をのぞくと肉屋の眞上だ。牛、豚、かしわ等大小の肉塊が所狹きまでに釣下げられてある　その中を押合ひながら人々が往來してゐる。三階は簡易食堂私等は今朝食をすませた許りなのに咽喉をゴクゴク言はせてゐる。これだけの物が僅か午前中の九時間ですつかり消化されるとは……上海も實に大した所だと感ずる。

一旦宿に歸りバスを列ねて戰跡に赴く。閘北戰線を見る。多くの目立つた建物は、何れもこれも無慘な殘骸を見せて燒け崩れてゐる。如何に市街戰の激烈だつたかは、商務印書館や向ひの圖書館等のアバタ面、壁面の彈痕によつてもまざまざと當時が窺はれる。海軍忠魂碑に參拜御國の爲にあたら生命を投げ捨て異國の露と消えた英魂に、恭しく花束を捧げて冥福を祈つた。最も戰のはげしかつた四明公所、八字橋を通り廟行鎭へと向ふ。郊外を隨分長い間走りつゞけてバスは廟行鎭の部落にとまつた中國ではこの村を永久に事變の記念として保存するのださうだ。戰に負けた記念とは私等には變に聞えてならぬ。併し日本軍が爆彈三勇士を出す程に強く防禦した所だと理由附けてゐるから何のこともない話だ。村はづれの廟は砲彈に見舞れた痛ましい姿でありし日を物語り今は參詣する者も絕えてゐる戰跡らしい所もなく僅か二三の塹壕を見るのみだ。切り拓かれた竹籔の跡を踏みつけてクリークに沿うた島に出る案內の方は「三勇士戰死の場所はこゝです」と指さゝれた土饅頭と土饅頭との間の一面に豆の花が咲き揃ふてゐるだけで一本の棒片すら建てゝゐないのだ事變當時は形ながら墓標を建て香華も手向られてゐたさうだが、休戰の誓も定つて我家に歸りついた民國人は恨を呑んで、その型ばかりの墓標をすら打ち蹴り、はては石を投げつけて無禮の限りをつくしたため致方なく取除かれたのだと聞く。私達はその跡に一片の棒を立て、花束を捧げて一分間默禱をする。あゝその偉大なる功績を日本國中、否海外津々浦々にまで轟かした我が肉彈三勇士の戰跡に、記念の何物をも建て得られないとは私等日本人は何うして涙なしにこゝを去るだらうか時折に吹くともなく畠を渡る春風も、氣のせゐか、私等には哀しさにすゝり泣いてゐるやうに思はれた英靈よ！我等日本人のこのかなしき胸中を察して瞑目せよ！（谷幽香子）

內地人官舍、社宅を

專門の賊逮捕

前科四犯の京都生れ

內地人宅を專門に荒してゐた前科四犯の窃盜犯人が二十一日新京署員に逮捕された、京都市生れ住所不定前科四犯谷本幸次郎（四二）は去る二月二十七日大連から來京し、市內室町二丁目簡易宿泊所に投宿中、かつて大連刑務所に收監中知合であつた、朝鮮人金某と出會ひ、二人が共謀し關東軍官舍並に滿鐵社宅の家人不在中を奇貨とし、窓硝子を破壞し內部に侵入し金品を窃取市內の質店に入質、料亭に登樓豪遊をきはめてゐるを新京署池水刑事部長、日高刑事が探知し搜査の結果、犯人が二十日三笠町朝鮮料亭金成館に立廻つたのを突止め、二十一日午前一時ころ登樓中を逮捕し目下取調べ中である、自白した被害三百余圓にのぼつてゐる

大收穫を得

商業生かへる

すべて自治的旅行

新京商業學校內地修學旅行團新京在住者三十五名は池谷、白石兩敎諭の引率のもとに二十日午後七時三十分着鳩で一行無事歸京した、なほこの度の旅行は生徒側で通信班、寫眞班、交渉班、映畫班、衞生班など組織して全部自治的にやつて來た、通信班は既に本社に二回に亘つて、船中市內見學などの通信を送附し、映畫班は旅行中各學校、都市のいたる處で敎育資料になる映畫を一千八百フイートから撮影して四、五日中には學校で試寫するまでになつてゐる、晩餐をともにして有意義な談話を交へて來た程で、多くのその他東京では本庄侍從武官長、廣島では小磯第五師團長を訪問し、本庄大將の如きは收穫を得たと大喜びである

いよいよけふ

居留民會評議委員選

新京居留民會評議委員選擧は二十二日午前十時から午後三時まで朝日通り總領事館北隣り日本赤十字社新京支部內で擧行される有權者は振つて投票されたいと

6—4　鐵道勝つ

對ビユーロー

既報、新京鐵道事務所營業係員對ツーリスト、ビユーロー員の野球試合は二十日午後五時半からビユーローの先攻で試合は接戰に接戰を重ね七回戰で打切つた結果ビユーローの追戰かなはずつひに六對四で京鐵軍に軍配は擧つた

ビユーロー	1	0	0	2	0	0	1	4
京鐵	2	0	2	0	0	0	2	6

六大學リーグ

雨で延期

（東京國通）二十一日から幕を切つて落す筈であつた六大學野球リーグ戰立敎對帝大戰は雨のため試合不可能となつた

橋口家不幸

新京特別市々政公署總務處長橋口勇九郎氏次女功子（六才）さんは腦脊髓膜炎に罹り療養の甲斐なく二十一日午後五時死去、二十三日午後三時市內曙町曹洞宗大正寺で告別式が執り行はれる

日本の聖女（上映）

生田葵　南部龍平畫

九一

女盗賊（一）

番臺に居た湯屋の婆さんは湯錢を受け取りながらも、その女の容子がづぬけてよいのと、顔形ちや物腰の樣子で玄人上りの女であると鑑定した。

つひぞ見なれない顔なので、大方近頃此の近所へ引越して來たのであらうと、目當をつけていろは番號の衣裳戸だなの前に立つて、帶を解き出したその後姿を眺めて居た。

女はそつくりはだかになると、衣裳を、しきりだなの中へとそゝくさとなげ込んで、さつさと脱衣場を締切り、よし戸を明けて流し場の中へと辷り込んで行つた。

と、直ぐ表の女の出入口の腰高障子戸が開いて、新しい女客が這いつて來た。

五十二三歳とも見ゆる切り髪のお婆さんで、やわらか着物をつけて手に持物を容れた袋をさげて居る容態は寺まゐりにいつた歸り途か、それとも何か用事で出かけて行く途中のやうに見受けられた。

その女も番臺に居る湯屋の婆あさんには初めて見る顔であつた。

「今日は既にお暑うおすな、日傘を持つて來なかつたので、かんかんおてんたうさんにてり付けられて、たんとあせをかきましたんえ、それでいれて貰はうと思つて」

番臺へと湯錢を渡しながら、中婆あさんはそんなとわず語りをするのであつた。

「はんまに今日は爽は暑うおすえな。日ざしの色がまるで夏のやうに見えてますもの」

番臺の婆さんは……くそんな合槌を打つて居る。

「手拭を持つて居ますけれど、ぬらすのいやどすかい貸ておくれやす」

初めて來た中婆さん客は手拭ひを借りると、いろは番號のぬの字の衣裳戸だなの前へと立ち先づ手にした袋包を入れ、それからゆつくりとした調子で帶をとき、着物をぬいでから、湯ぶねの方へはいつて行つた。

客は男湯の方に二人、女湯の方には今來た女客二人をいれて五人と、都合七人しかゐなかつたんだが、それでも可なり騒々しく、流し場では湯を流す音に交つてぺちやくちやと女客のかしましい話がしてゐるのを番臺の婆さんは閑潰ぎのざふきんを刺しながら聞いた。

やがて近所の鳥料理屋の若い女中二人が連立つてよつて來たが、両もゝ…りの赤くなつた脱に衣裳を着けるとさつさと歸つていつた、續いて上つて來たのはいきな年增女であつた。

驅麗な白い肉付きの身體が、湯の熱たまりを受て紅をさしたやうに美しく、すんなりとした手足ののびに、力仕事をしたことのない優艶さが見られた。

しぼつた手拭で身體を更に一と通りぬぐふと自分の衣裳をいれたよの番號の戸だなの前へとよつていつた。

それはこの女の直ぐ後からやつて來た切髪の中婆あさんの衣裳だなと隣あつてゐた。

番臺の婆あさんは相變らずざふきん刺しに餘念がなかつた。

とその小いさな年增女の眼が急に光つた番臺を背にして來た時よりはずつと手間隙いれて衣裳附をしてゐたすると、切髪の中婆さんがあらひ場のよし戸を開けて脱衣場へ姿を見せた。

内部ですつかり身體をふいたと見え直ぐ自分の衣裳だなの前へ突つ立つたが、すこし手を動かすと

「あつ、私の袋の中にいれて置いた財布がない、誰か盗まはつた」

突として大聲を擧げた。